

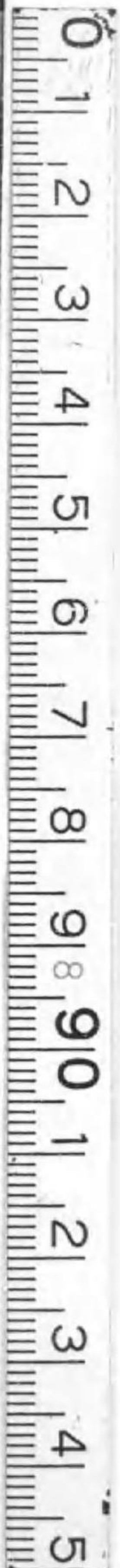


特217

70

識知の理地本日

著里鶯林小



始



特217
70



小林鶯里著

東京出版通信社發行

日本地理の知識



序

世界列強の間に於ける我が帝國の地位を知ることには國民たるものゝ義務であると言つてもいゝであらう。所が帝國の地理的概念さへもなく徒らに枝葉の問題にあくせくとしてゐるは己を知らぬも甚だしいものと言ふべきであらう。

本書は國民の等しく知らなくてはならない程度の帝國地誌を平易に瞭然と述べたもので何人にも一讀をすゝめ度い希望を以つて敢て本叢書の中に加へたものである。

小 林 篤 里

日本地理の知識〔目次〕

總	說	一
面	積	三
區	分	五
關東	地方	八
地勢	—氣候—產業—交通	
奧羽	地方	一六
地勢	—氣候—產業—交通	
中部	地方	二四
地勢	—氣候—產業—交通	
近畿	地方	三四

地勢	—氣候—產業—交通	四二
中國	地方	
地勢	—氣候—產業—交通	
四國	地方	五〇
地勢	—氣候—產業—交通	
九州	地方	五八
地勢	—氣候—產業—交通	
臺灣	地方	六六
地勢	—氣候—產業—交通—住民—政治	
北海道	七六
地勢	—氣候—產業—交通—住民—政治	
樺太	九〇

地 勢——氣 候——產 業——住 民

朝

鮮

地 勢——氣 候 生 物——住 民——政 治——交 通

關 東 州 及 び 南 洋 諸 島

關 東 州——南 洋 諸 島

九四

101

— (了) —

日 本 地 理 の 知 識

小 林 鶯 里 著

總 說

位置 わが大日本帝國は亞細亞大陸の東邊に位する日本列島と、大陸の一部である朝鮮半島とから成つてゐる。

日本列島は三個の弓形で、東北から斜に西南に連つて延長實に一千二百里に及ぶ本州・四國・九州・臺灣・北海道本島・樺太の南半の六大島と、千島・琉球の二列島及び、小笠原諸島、その他大小百有餘の小島からなつてゐる。大陸との間にはオホーツク海・日本海・東支那海を圍み、千島・間宮・朝鮮・臺灣等の海峡をもつて

ゐる。その形は、丁度東亞海上の防波堤の感がある。朝鮮半島は日本海と黄海との間に突出してゐる朝鮮半島と大小七百有餘の島から出来てゐる。次に帝國の四極を示して見よう。

北端 北緯五〇度五六分 (千島アライト島北端)

南端 北緯二一度四五分 (臺灣七星岩の南端)

東端 東經一五六度三七分 (千島シユム守島東端)

西端 東經一一九度一八分 (澎湖島花岐の西端)

境界 西と北はオホーツク海・日本海・黄海・東支那海をへだて、西比利亞及び支那に對し、朝鮮は鴨綠江と長白山脈と界して支那及び滿洲に對してゐる。又北

は北緯五十度で樺太に對してゐる。東及び南は太平洋に面し、海の彼岸にアメリカ合衆國及びカナダに對してゐる。南方にはカロリン・マリヤナ・マーシャル等委任

統治地が散在してゐる。臺灣の南方はパシ海峽を挟んで米國領のフィリピン群島に

接近してゐる。

面 積

帝國の面積は約四萬三千六百萬方里で、列島の中最も大きいものは本州で、北海道本島・九州・臺灣・樺太の南・四國などの順である。朝鮮は本州より幾分小さい。

わが國土は明治の初年帝國の全面積は僅かに二萬四千八百方里ほどに過ぎなかつたが、日清・日露の二大戦役の結果、臺灣及び樺太の南部及び朝鮮を併有し、支那

からは關東州を租借し、又南滿洲・東蒙古にも勢力を張り、更に日獨戦争の結果山東半島をわが勢力範圍に入れミクロネシア諸島(マーシャル・カロリン・グリヤナ)

をもわが委任統治の中に入つた。

明治八年 ロシヤと千島樺太の交換をなす。

明治二十八年 清國より臺灣及び澎湖諸島を割取す。

明治三十八年 樺太南半を領有し、韓國を保護國とし、又關東州租借權並に南滿洲の優越權を受く。

明治四十三年 韓國を併合して朝鮮と改稱す。

大正三年 膠州灣・山東鐵道・ミクロネシア諸島を獨逸より奪取す。

大正八年 赤道以北のミクロネシア諸島を委任統治地域とする。

次に參考までに世界列強國との面積の比較を表示して見よう。

米 國	五九〇	約十四倍	二、二
日 本	四、三	—	—
佛 蘭 西	三、六	約五分ノ四	七八、〇
獨 逸	三、〇	約七分ノ五	—
英 吉 利	二、〇	約二分ノ一	二二五、〇

(本國面積)

(わが國との比較)

(屬地面積)

伊 太 利 一、八 二分ノ一より小 九、九

區 分

舊時 本州・四國・九州・北海道は帝國の主要部で内地と稱し、新領土たる臺灣・樺太・朝鮮は新領土と云ふ。北海道は維新以後の開發によるもので、明治の初年には純然とした植民地であつたが、今日では殆ど内地と同様の程度までに開發して來た。

内地はもと畿内八道八十五ヶ國に區分せられてゐたのでその習慣によつて今日でもその呼び方を用ふる場合がある。

- 畿内——五ヶ國 東海道——十五ヶ國 東山道——十三ヶ國
- 北陸道——七ヶ國 山陰道——八ヶ國 山陽道——八ヶ國
- 南海道——六ヶ國 西海道——十二ヶ國 北海道——十一ヶ國

これ等の國の中で海に面しない國を知るために次の様な歌がある、

海なきは山城大和伊賀河内丹波美作近江美濃飛彈

山里の信濃路こめて甲斐の國上野下野岩代もなし

今日ではこの舊時の區劃は殆ど使用せられてゐない。東海道などが比較的多く使用せられる位のものである。

現時 現今では行政上内地を三府四十三縣及び北海道、臺灣、樺太、朝鮮に分け、府縣廳、北海道に道廳、樺太に廳、臺灣、朝鮮には總督府を置いて管轄してゐる。又關東州には別に關東廳をおく。次に府縣名及び官廳の所在地を示さう。

- (イ)關東地方(一府六縣) 東京(東京市) 神奈川(横濱市) 千葉(千葉市) 茨城(水戸市) 埼玉(浦和町) 群馬(前橋市) 栃木(宇都宮市)
- (ロ)奥羽地方(六縣) 福島(福島市) 宮城(仙臺市) 岩手(盛岡市) 青森(青森市) 秋田(秋田市) 山形(山形市)

- (ハ)中部地方(九縣) 静岡(静岡市) 愛知(名古屋市) 岐阜(岐阜市) 山梨(甲府市) 長野(長野市) 新潟(新潟市) 富山(富山市) 石川(金澤市) 福井(福井市)
- (ニ)近畿地方(二府五縣) 滋賀(大津市) 京都(京都市) 奈良(奈良市) 三重(津市) 和歌山(和歌山市) 大阪(大阪市) 兵庫(神戸市)
- (ホ)中國地方(五縣) 鳥取(鳥取市) 島根(松江市) 岡山(岡山市) 廣島(廣島市) 山口(山口市)
- (ヘ)四國地方(四縣) 徳島(徳島市) 香川(高松市) 愛媛(松山市) 高知(高知市)
- (ト)九州地方(八縣) 福岡(福岡市) 佐賀(佐賀市) 長崎(長崎市) 熊本(熊本市) 大分(大分市) 宮崎(宮崎市) 鹿兒島(鹿兒島市) 沖繩(那覇市)
- (チ)北海道(札幌市) (リ)樺太(大泊) (ヌ)臺灣(臺北) (ル)朝鮮(京城) (ヲ)關東州(大連)

關 東 地 方

關東地方は本州の東南部に位置し、東海道の六國相摸・武藏・安房・上總・下總・常陸と東山道の二國（上野・下野）とから成る。所謂關八州といふ地で、行政上一府六縣に分れてゐる。

地勢 西と北とは山脈を繞らし、土地は東南に低下し太平洋及び、東京灣の岸に盡く、随つて河川は西北の高地に發して、わが國最大の關東平野を貫いて東流又は南流する。

（イ）山系 阿武隈山脈、三國山脈、關東山脈、那須火山脈、富士火山脈等が主なものである。

阿武隈山脈は奥羽から來て東北部を南走し、南端で八溝山脈となる。その盡くる所に筑波山がある。この山は關東の名山で、眺望廣濶にして頂上には氣象觀測所がある。

ある。

三國山脈は上野、越後の境上を西走する山脈で、三國峠、清水峠などの坂路がある。これは共に越後から關東に通ずる捷路である。

關東山脈は又秩父山脈ともいふ。關東の西南隅に當つて甲信の境上を東南に走る山脈で、甲武信嶽がその中に聳えてゐる。又武甲山の北には秩父盆地を包んで南部に大山がある。

那須火山脈は奥羽から南下して、西北部に通じ、那須高原・男體・日光白根・赤城・榛名・妙義・草津・白根等の諸火山を噴起して信濃の淺間山に終る。那須・草津・白根・淺間は有名な火山である。又男體山の麓には中禪寺湖、華嚴瀑などの勝地がある。赤城・榛名・妙義の三山は景勝を以て著れてゐる。温泉も亦處々に涌き出し那須・鹽原・伊香保・四萬・草津などが有名である。

富士火山脈は本州の中部を横断して箱根地方に火山を起し、更に伊豆諸島、小笠

原諸島・琉球列島などの火山島となつて遠くムリヤナ諸島に至つてゐる。箱根山は二重式休火山で、火口丘と外輪山との間に火口原湖芦の湖を湛へ、火口瀬は早川となつて小田原の海に入る。この地方には温泉が非常に多い。三原山は伊豆の大島にあつて、これも二重式火山で今日なほ盛んに活動してゐる。丘陵としては以上の山地の他に、南部に房總、三浦の二半島があり、何れも丘陵地となつてゐる。

(ロ)水系 河川は大體西北の山地から流れて東流又は南流してゐる。利根川は關東第一の大河で、犬吠崎で太平洋に注ぐ。これより北には那珂川、久慈川があり、西には荒川、多摩川などがある。これ等の河川の上流には大抵水力發電所が設けられて東京及び附近への電力を供給してゐる。

霞ヶ浦は約三十四里の周圍があつて、我が國第二の大湖である。北浦と共に汽船を通じてゐる。附近の印幡沼手賀沼なども舟運の便がある。

火山地方には中禪寺湖、榛名湖、芦ノ湖など風景に富んだ湖がある。

(ハ)海岸 南には房總、三浦の二半島があつて、東京灣、相模灣を作つてゐる。東京灣は水が浅く單調だけれども、その西南岸は稍々出入に富んで横濱、横須賀等の良港がある。浦賀水道は要塞地で、西南には浦賀の良錨地をひかへてゐる。相模灣は平滑な砂濱で海水浴に最適の地である。東部には犬吠崎が突出して、鹿島浦、九十九里濱の兩砂濱を分けてゐる。犬吠崎には燈臺、無線電信局などがあつて航海者の目標である。

○氣候 關東地方は西と北とは山を負ふて、北風をさへぎり、東と南は海に面して濕氣をふくんだ南風を容れ、殊に日本海流が近くを流れてゐる關係で、温暖で雨量が多く、氣候は非常にいい。だから海岸地方には保養や遊覽に適する地が多く、小田原、大磯、葉山、逗子、北條、などは最も有名である。

○産業 地味よく、氣候温暖なこの地方は産物もまた非常に豊富である。

(イ)農業 平野が廣く、地味よく肥え、氣候溫暖な地方には第一に農耕が盛んで農産物の多いのは自然の勢である。

米、利根川の下流地方には水田多く茨城・千葉の二縣は産額關東の主位を占む。

麥 關東平野には畑が多く、麥の産額は非常に多く、我が國の四分の一以上を産出する。中でも茨城・埼玉最も多く、千葉、栃木、群馬等も多い。

大豆 茨城・埼玉の二縣に多い。

甘藷 千葉・埼玉の二縣に多く産する。

煙草 栃木・茨城の二縣に最も多く、神奈川が之に次ぐ。栃木縣の茂木・烏山

茨城縣の太田、神奈川縣の秦野等はその主要産地である。

大麻 栃木縣鹿沼は大麻の本場であるが近頃はその産額が非常に減じて來た。

養蠶 西部の地方に盛んで、殊に群馬・埼玉の二縣は全國の第三位、第四位にあり繭・生糸の産額が非常に多い。

牧畜 乳牛は東京府に最も多く、豚・鶏は千葉縣に多い。

(ロ)水産業 近海には暖流があり、各種の魚類が多く、鰯・鯉・秋刀魚・鮪などの穫物が多い。九十九里ヶ濱・伊豆七豆の近海は好漁場である。千葉縣は全國屈指の産額を有し、神奈川・茨城の二縣も多い。東京灣に産する淺草海苔は有名である。

(ハ)鑛業 足尾・日立は共にわが國有数の大銅山で、足尾はこれが爲めに人口三萬餘の都會を發達させた程である。日立には銅の他に金・銀などの産出もあり、産額は全國の首位である。又茨城縣の北部常磐炭田には質は悪いが石炭の産出多く東京地方の燃料として用ひられる。石材は太田附近の寒水岩、筑波山麓の花崗石など有名である。産額は茨城・栃木・千葉などが多い。

(ニ)工業 石炭水力の利用と、勞力の得易いといふことによつて近頃非常に工業が發達して來た。東京市の内外には大工場多く、綿絲・肥料・藥品・珪璃器・洋紙・

精糖・麥酒・機械・兵器等の製造が盛んに行はれてゐる。又横須賀・横濱・浦賀・東京・などには造船が盛んである。

製絲・機業は養蠶地に多く、生絲は群馬・埼玉に、絹織物は群馬・東京・栃木に毛織物は東京・群馬に多い。機業地としては、桐生・足利・秩父・所澤・川越・飯能・浦和・八王寺等がある。

醸造業は千葉縣の野田・銚子・佐原の醬油、流山の味淋、佐原の清酒などが有名である。茨城縣の石岡も清酒の産地として有名である。

(ホ)商業 東京市は北日本の商業中心で、あらゆる商業機關が完備してゐる。この他養蠶地方には生糸、絹織物などを取引する商業が多く發達してゐる。

外國貿易は主として横濱港に行はれるその貿易額はわが開港場中第一である。交通 關東は江戸幕府時代以後、全國政治の中心をもつて幾多の主要街道が東京市に集り、日本橋は全國里程起算の元標となつてゐる。東海道・甲州街道・中山道

越後街道などは他地方に通ずる要街路である。又東北には奥州街道・濱街道を通じて奥羽と結束してゐる。

鐵道は全國で最も發達し、何れの地方へ行くにも極めて便利である。その主なものをあげると次の様である。

東海道本線——東京・横濱・國府津を経て静岡に入る。

中央本線——飯田町・立川・八王子を経て山梨縣に入る。

東北本線——上野・大宮・小山・宇都宮を経て福島縣に入る。

信越本線——上野・大宮・高崎を経て長野縣に入る。

常磐線——上野・土浦・水戸を経て福島縣に入る。

横須賀線——大船・鎌倉・横須賀に至る。

その他支線は非常に多く、横濱線(横濱・八王寺)川越鐵道(川越・國分寺)青

梅鐵道(立川・二俣尾)日光線(宇都宮・日光)兩毛線(小山・高崎)上野鐵道(高

崎・下仁田) 秩父鐵道(秩父・熊谷) 總武線(兩國・銚子) 北條線(木更津・勝浦)
成田線(佐倉・佐原) 東武鐵道(淺草・伊勢崎)などがある。
横濱は海運の中心で内外航路がこゝに集つてゐる。海底電信も東京に起つて小笠
原の父島に至る。銚子船橋には無線電信局があり、米國航路の船舶と通信する。殊
に船橋局は海軍省の所管で完備してゐる。

奥羽地方

奥羽地方は本州の東北部を占めて、東北地方の別名さへある。東は太平洋に、西
は日本海に、北は津輕海峽をへだて、北海道に對してゐる。磐城・岩代・陸前・陸
中・陸奥・羽前・羽後の七國から成り行政上は之を六縣に分けてゐる。
地勢 三條の高地が殆ど平行して南北に連り、河川は大抵その間を南或は北に流
れ、平野も之に沿つてゐる。だから南北の交通は割合と開けてゐるが東西の交通は

極めて不便である。

(イ) 山系 北上山脈・阿武隈山脈・奥羽山脈・出羽山脈・越後山脈・那須火山脈
鳥海山脈などがある。

北上山脈・阿武隈山脈は東部太平洋岸に走つてゐる高原性の山脈で、仙臺灣によ
つて兩分せられてゐる。即ち灣以北は北上山脈で早池峯が主峯である。南にあるが
阿武隈山脈で靈山が最も名高い。

奥羽山脈は又分水山脈ともいつて、奥羽の中央を南北に走つて、太平洋と日本海
との分水嶺となつてゐる。那須火山脈の諸峯がその上に噴出して高山は大抵火山で
ある。

出羽山脈・越後山脈は日本海岸に近く丘陵性の山脈で、その上に鳥海山脈が通じ
てゐる。その南には高峻な越後山脈が連つて、越後境に至る。脈中の朝日嶽は奥州
第一の高山である。

那須火山脈は北海道から来て、恐山・八甲山・岩手山・藏王山・吾妻山・安達太郎山・磐梯山などの火山を起して關東地方に入つてゐる。中には磐梯山・太郎山・吾妻山は近年爆發したもので有名である。磐梯山の南麓には猪苗代湖を堪へて、八甲山の麓には十和田湖がある。

鳥海火山脈は岩木山・月山等の火山を起し、中にも鳥海山は山上の眺望がいゝので登山者が非常に多い。

(ロ)水系 東側には北上・阿武隈・馬淵の三川が流れ北上川は南流し、他の二川は北流して共に仙臺灣に注いでゐる。この三川に沿つては南北に延びた平野があつて、その中でも北上平野が最も大きい。

西側には阿賀ノ川・最上川・雄物川・岩木川等がある。何れも流域には平野或は盆地をもつてゐる。中でも會津・米澤・山形・新庄・横手などの盆地、庄内・秋田津輕の平野が最も有名である。

北上川は奥羽第一の大河で一ノ關附近まで舟運の便がある。最上川は日本三急流の一つで、芭蕉の「五月雨をわつめて早し最上川」などの句がある。

湖沼は猪苗代湖・田澤湖・十和田湖・八郎潟・十三瀨・小河原沼などがある。猪苗代湖は附近に大きな発電所があり、東京市に電力を供給する。十和田湖は風景絶佳遊覽の客が多い。

(ハ)海岸 海岸は大抵單調であつて、東岸には雄鹿半島を界として南北でその趣を異にし、南は半直な砂濱であり、北は鋸齒状の小出入が多いが山が直ちに迫つて交通は甚だ不便である。西岸は一體の砂濱で、砂丘遠く相連り中央に男鹿半島が八郎潟を包んでゐる。北部は下北・津輕の二半島が突出して陸奥灣を圍み、陸奥灣は更に分れて青森・野邊地・大湊の三灣となる。港としては秋の濱・船川・大湊がある。景勝の地としては松島・金華山・男鹿半島などがある。

氣候 土地が北方に偏してゐる關係で、本州の中では最も寒冷であるが、晩春に

は氣候がよくなり、梅・櫻・桃・李など一時に花を開く。西海岸は對島海流により東海岸に比しては高温で雨雪が非常に多い。冬になると日本海上は風浪高く、夏季太平洋岸は霧が深く、殊に金華山沖に多く、燈臺には霧笛の設けがある。

産業 この地方の産業としては鑛業・水産業・林業・牧畜業が最も有名である。

(イ) 農業 平野もあり地味も相當に肥えてゐるけれども、氣候不順で時々凶作を見ることがある。又未墾の原野が多く、農業は割合におくられてゐる。

米 河川の流域殊に北上平野・庄内平野・津輕平野等に多い。人口の割合には米産は多いから山形・秋田・宮城・福島などは他府縣に積み出す。

稗 岩手縣の山地に産し、一部の人たちはこれを常食としてゐる。

馬鈴薯 その風土馬鈴薯に適し、青森・福島・秋田等には多く産出する。

果實 林檎は津輕平野、盛岡附近が名産地で、青森縣は全國第一の産出を見る。櫻桃は山形を中心にして他の縣にも産出する。

養蠶 南部の福島・山形・宮城の三縣に行はれ、殊に阿武隈・最上の二川の流域に盛んである。

(ロ) 牧畜業 原野の廣いのと、舊幕時代に各主がこれをすゝめたことによつて牧馬大いに發達し、太平洋面の青森・岩手・宮城・福島の四縣は殊に盛んである。

白河二本木、七戸・六原・萩野には軍馬の補充支部をおき、七戸には國立種馬牧場岩手山麓には、小岩井牧場がある。白河・三春・盛岡には盛大な馬市が開かれる。

(ハ) 林業 秋田・青森の二縣は最も盛んで、杉・檜・羅漢柏等の美林がある。能代川の上流の杉材は殊に有名である。これらの材木は河川によつて、大館・能代などに集め製材し搬出する。

(ニ) 水産業 太平洋岸の宮城・岩手・青森の三縣は盛んで、金華山沖がその中心である。鮪・鯉・鯨の産多く、岩手縣の鮑・烏賊・青森の鱈・昆布は有名である。

(ホ) 鑛業 秋田縣はわが國第一の金の産地で青森・岩手・福島の三縣にも多い。

銅 秋田縣の小坂・不老倉・尾去澤・阿仁・荒川、青森縣の安部城、福島縣の加納嶺山などから産出する。

銀 小坂は全國第二の銀の産地で、青森縣の阿部城が有名である。秋田縣入盛は近頃大いにその産額が減少した。

鐵 岩手縣釜石鑛山は内地第一の鐵産地で釜石町に壯大な製鐵所がある。仙人鑛山にもまた多少の産出がある。

石油・石炭 石油は秋田縣の黒川油田に多く、石炭は常磐炭田から出る。平は探炭の中心地である。

その他青森縣の岩崎の滿俺、福島縣沼尻火山の硫黄等亦有名である。

(一)工業 關東に比べては大いに劣るけれども、福島・山形・宮城の三縣には製絲が行はれ、福島市・郡山・二本松・鶴岡などは殊に有名である。山形・福島には絹織物多く、米澤の絲織、川俣・鶴岡の羽二重、仙臺の八橋織、仙臺平、秋田・畝

織・八丈絹などは有名である。其他地方名を冠した名産も多い。會津塗・津輕塗・能代春慶塗・會津燒・相馬燒・南部鐵瓶・南部釜などである。

(ト)商業 大きな中心地もなく、僅かに地方特産を取引する位のものである。福島市は東北第一の商業地で生絲・繭・羽二重などの取引が盛んである。外國貿易は僅かに青森港で行はれる位のものである。

交通 奥州街道・濱街道・出羽街道を主要道路とし、河川又海岸を縫うて南北に通ずる。白河・勿來・念珠は關東・越後から奥羽に入る門戸である。冬になると積雪多く、運搬には主として橇を利用する。

鐵道には東北本線・奥羽線・常磐線などの南北縦貫線があり、南北の交通に便益を與へる。

太平洋岸の北部は海岸が急に迫つて良港がない。たゞ牡鹿半島の萩ノ濱を唯一の寄港地としてゐる。日本海岸は砂濱で、良港は大抵大河川口にあるが冬季は西北風

を受けて良泊地は殆どない。北部には陸奥の大灣があつて、東北隅には大湊の良港がある。青森港は北海道へ渡る要津として、函館との間に連絡船を通じてゐる。磐城の海岸の原ノ町及び富岡には宏大な無線電信局があつて、米國との通信は自由である。

中部地方

中部地方は本州の中部に位し、東は關東地方、西は近畿地方に境し、北は日本海、南は太平洋に面してゐる。東海道の六國と、北陸道の全部と東山道の三國とからなつて、行政上は九縣に分けてゐる。

地勢 この地方は南灣、北灣の兩山系の相會する所で、數多の山脈、火山脈が輻輳して、土地は最も高峻で、幅は約六十里の所が最も廣い。随つてわが國最高の高地があり、諸大河はこの間から流れる。その中最も有名なのは飛彈高原である。

(イ) 山系 越後山脈は越後の東境から西南に走る山脈で、西南部には特に三國山脈の名がある。阿賀の川はこの山脈の間から流れて、岩越間の重要な交通路となつてゐる。北には飯豊山があり、南には平岳がある。

關東山脈 甲・信・武・相の境を東南に走る山脈で、甲武信嶽は、三國の境上に立ち、金峯山からは水晶が出る。更に南には分流があり、天目山・笹子峠などがあ

る。赤石山脈は諏訪湖の南方に起つて、甲・信・駿の國境を西南に走り、渥美半島・志摩半島を経て紀州山脈に連る。駒ヶ嶽・白峰山・赤石山等の高峰が並んでゐる。

木曾山脈は赤石山脈に並行して南信濃の中部に走つてゐる。駒ヶ嶽などの高山がある。

飛驒山脈は越中・飛驒、越後・信濃の境上を南走する大山脈で、御嶽火山脈に屬する諸火山が噴起して、その中でも白馬嶽、大天井山、槍ヶ岳等の高峯がある。南

北二十里東西十里の間殆ど人家を見ない所の深山がある。赤石、木曾の二山脈と共に日本アルプスと稱せられて、夏には登山する者が非常に多い。那須火山脈は北海道・奥羽・關東を経て、上野信濃の境上に噴起する淺間となり草津となり白根岳となつてゐる。淺間山は絶えず白煙を吐いて時々爆發することがある。

富士火山脈は南方の洋中に起つて、天城山・富士山・八ヶ岳・立科山・飯綱・戸隠・妙高等の諸火山を起して本州の中部を横断してゐる。富士山の如きは山姿美しくその名は世界に著はれてゐる。

御嶽火山脈は飛驒山脈上に並走し、御嶽・乗鞍岳・燒岳などを噴起し、燒岳は硫黄嶽ともいつて近時盛んに活動してゐる。

白山火山脈は飛驒高原の西境に、白山を中心として西に走り遠く山陰にまで及んでゐる。これ等の火山脈の通づる所には温泉が多く、殊に伊豆、信濃には多い。

(ロ)水系 河川は多くの山脈を分水嶺として自然太平洋及び日本海の兩方面に流れる。概して急流が多く、舟運の便は少い、が上流の地方には何れも風景の勝れた所が多く、水力電氣に利用せられてゐる所も多い。

太平洋方面に注でゐるものには、富士川・大井川・天龍川・矢作川・庄内川・木曾川等がある。富士・天龍・大井は急流をもつて知られ、何れも下流には広い河原がある。富士川は日本三急流の一つである。木曾川は木曾山脈に發し、木曾谷を流れて益田川・長良川・揖斐川等の水を集めて濃尾の大平野を作り、伊勢灣に入る。水運・灌漑の便多く下流には汽船の便さへある。

日本海に入るものには阿賀の川・信濃川・常願寺川・神通川・庄川・九頭龍川などがある。信濃川は千曲・犀兩川の水を集めて新潟市で日本海に入る。下流には廣大な平野があり水運の便もある。内地第一の長流である。

湖沼の中では富士山北麓の山中・河口・西・精進・本栖・四尾連及び、浮島沼・芦

の湖(富士八湖)と天龍川上流の諏訪湖、濱名湖及び日本海岸の小さい潟などが知られてゐる。諏訪湖はスケート場として冬季は賑はふ。濱名湖は風景に富み夏季は海水浴地として秀でゝゐる。

(ハ)平野には濃尾平野・越後平野・越中平野・越前平野などが有名で何れも地味よく、米の産額が多い。この他山中には甲府盆地・諏訪平・松本平・佐久平・善光寺平などの平地があつて、各々の都會が發達してゐる。

(ニ)海岸は太平洋岸と日本海岸とは非常に趣を異にし、太平洋岸には伊豆半島が突出して駿河灣を作る。駿河灣は風景に富み日本屈指の景勝地であ。又波浪高くて知られてゐる遠州灘があり、その西には伊勢灣が深く彎入して海運を助けてゐる。日本海岸は西部に僅か若狭灣があつて良港をもつてゐるのみで、一般に急に海にせまつて交通不便である。良港としては敦賀・七尾・伏木・夷などがある。太平洋岸の良港としては名古屋・武豊・清水などである。

氣候 南部は北に山を廻らして寒風を遮ぎり、地形が南に開けてゐるから氣候溫暖で、雨量も多く、避暑・避寒に適した地が多い。中にも熱海・興津・濱名湖畔等が有名である。

北部は冬季西北の風が吹いて、對島海流上の濕氣をもつて來るので、降雪が非常に多く、日本でも有数の降雪地として知られてゐる。

中央の高地は寒暑共に烈しくて、雨量も亦少くない。冬は湖などは氷結して絶好のスケート場となる。

産業 地勢が極めて複雑であるだけに、諸種の産業が發達してゐる。

(イ)農業 諸川の平野には農耕が大に行はれ、米産豊で、山地の諸地方には養蠶・製糸が盛んに行はれる。

米は越後平野・濃尾平野・富山平野などに多く産し、新潟縣は府縣中第一位の産額を出し、愛知縣は第四位を占めてゐる。富山縣は段別割の收穫は最も多い。美濃

米・越中米は良米として有名である。麥は愛知縣に最も多く産出する。

茶は静岡縣に多くその産額は全國第一である。殊に遠江には盛んに行はれ、緑茶は清水港から盛んに米國へ向けて輸出せられる。

果實は静岡縣の密柑・山梨縣の葡萄・新潟縣の梨などが最も名高い。

養蠶は中央の高地及び南部の地方に行はれ、長野縣は繭・生糸の産額は全國の首位を占めてゐる。愛知・山梨・岐阜の諸縣もこれについて多い。

(ロ) 林業 木曾川の源泉地である木曾山中には、檜・樅・榎・羅漢柏などの美林があり、帝室の御料林に屬し、そこから切り出した材木は、木曾川の水運及び、鐵道によつて桑名・名古屋の貯木場へ送られる。

(ハ) 水産業 太平洋岸では静岡縣に多く、鰹・鯛・鮪・鰯などが多い。又石花菜の産も多い。伊豆節とか興津鯛の名は著れてゐる。日本海岸では富山縣に多く、又若狹灣からも魚産が多い。

(ニ) 鑛業 新潟縣に最も多く、殊に石油は我が國の大部分を新潟縣から産出する。東山・西山・新津などが有名な油田のある所で、長岡・柏崎・新津には廣大な製油所がある。佐渡の相川は古來から有名な金山で、又銀をも産出する。飛驒の神岡鑛山も銀・鉛の産地である。銅は石川縣の尾小屋・遊泉寺・静岡縣の久根などから産出する。石材は美濃の赤坂の大理石、甲斐金峯山の水晶、伊豆半島の伊豆石などが有名である。

(ホ) 工業 養蠶地方には製紙業が行はれ、長野縣の生糸の産額は全國一である。岡谷を中心としてその附近には生糸工場が多い。愛知縣・山梨縣などもこれに多い。緞織物は、福井・石川・富山の羽二重、山梨の甲斐絹・郡内縞、岐阜の縮緬、新潟の各種の織物などが有名である。綿織物は愛知縣を主産地とし、名古屋・有松附近に多い。紡績は愛知・静岡の二縣に盛んに行はれ、愛知縣は綿糸の産額は大阪・東京・兵庫に次ぐ。製紙は静岡の駿河半紙、岐阜の美濃紙、福井の鳥ノ子、

奉書などが多い、静岡縣は西洋紙の産額我が國第一である。

陶磁器は愛知縣の瀬戸焼・常滑焼が有名で、全國の約半分の産額を示してゐる。

岐阜縣の多治見焼も多い。石川縣の九谷焼・硬質陶器も知られてゐる。

漆器は石川縣が全國第二位を占め、静岡の輸出向き、岐阜・福井・新潟・愛知の諸縣からも多くを産出する。

この他愛知縣の清酒・醬油、山梨縣の葡萄酒、富山縣の銅器・鐵器・賣藥、愛知縣の七寶燒・時計なども有名な工業産物である。

(一)商業 内國商業は名古屋を中心として、静岡・福井・金澤・高岡・長岡・新潟等に盛んに取引せられてゐる。外國貿易は、清水・武豊・名古屋・敦賀・七尾・伏木・新潟・夷などに行はれるけれども、横濱港を経由するものが多い。武豊・清水・名古屋・敦賀の諸港は近時漸く盛んになつて來た。

交通 昔は江戸と京都との往來に大切な要路になつてゐたから東海道・東山道・

北陸道・甲州街道などが通じてゐる。

近時は鐵道が敷設せられて、東西の交通を一層便利にしてゐる。その中で主な線路は東海道本線・中央線・信越線・北陸本線などで、この他多くの支線があつて非常に便利である。

東海道本線は箱根を越して静岡に入り濱松・豊橋・岡崎・名古屋・岐阜・大垣を経て滋賀に入り京都・大阪・神戸に通ず。支線としては三島・大仁間の駿豆鐵道、豊橋・長篠間の豊川線、大府・武豊間の武豊線があり、又名古屋・彌富・龜山から大阪に通ずる關西本線がある。

中央本線は笹子隧道から甲府・鹽尻・木曾福島を経て名古屋に通ずる。鹽尻・篠ノ井間には篠井線がある。

信越本線は碓氷峠から篠ノ井・長野・直江津・柏崎・新津を経て新潟に至る。柏崎・新潟間には越後線があり、新津・村上間には羽越線、新津・郡山・平間には磐

越線がある。

北陸本線は直江津から親不知の嶮を越えて、高岡・金澤・敦賀を経て米原に至る。鐵道の中で最も重要なものは本州を縦貫せる東海道・中央線・北陸線の三つで、横断線には信越・磐越の二線がある。名古屋は主要鐵道線の集中點で本州での水陸交通の一大中心をなしてゐる。

海運は名古屋・清水の二港を中心として盛んである。日本海は風波荒くて航行は不便であるが敦賀は日歐交通の要路である。この他七尾・伏木も要津として知られてゐる。敦賀と浦鹽の間には大阪商船の定期航海路があつて、この間約三十七時間にして達することが出来る。

近畿地方

中部、中國、四國の三地方の中間に位し、北は日本海に臨み、南は太平洋に面す

る。昔はわが國の中樞地であつた所の畿内五國とこれに隣る東海道の三國、東山道の一國、山陰道の三國、山陽道の一國、南海道の二國を包み、行政上二府五縣に分れてゐる。

地勢 南部、北部は山脈が東西に走つてゐるけれども、中部は南北に走る小山脈によつて、多くの盆地が出来若狭灣、伊勢海、瀬戸内海は三方から迫つて本州の最狭部を作つてゐる。

(イ) 山系 山陰・山陽の境上を走る中國山脈は近畿の北部で丹波山地を作る。大江山がその主峯である。白山火山脈はその北側を西走してゐるが有名な火山はない。南道には高峻な紀伊山脈が東西に亘つて、東は志摩半島を経て赤石山脈に連り、西は紀伊水道を隔て、四國山脈に呼應してゐる。その中部は深山幽谷に富み、高野山、山上ヶ嶽、彌山、釋迦ヶ嶽、大臺ヶ原山等があり、その間を紀ノ川、熊野川、荒川などが源を發してゐる。山上ヶ嶽には大峯神社があつて夏日は登山する者が多

中部には鈴鹿、笠置、比叡、金剛などの小山脈が南北に連り、何れも海岸なり盆地なりをひかへてゐる。鈴鹿山脈は伊勢平野と近江、伊賀の盆地を作る山脈で古くから知られてゐる。その北部は伊吹山脈となつて近江、美濃の界を限る。伊吹山には氣象觀測所がある。笠置山脈は伊賀盆地、京都、奈良盆地を作り、歴史に有名な笠置山がある。比叡山脈は琵琶湖の西を走り比叡山、比良山などがある。金剛山脈は奈良盆地と大阪平野とを分け、有名な金剛山がある。

(ロ)水系 北部は中國山脈を分水界として河川は南又は北に流れ、南部の紀伊山脈では、中央の深山を中心として三方に流れる。又中部では諸盆地の水が集つて西南に流れる。

日本海斜面——由良川・朝來川
瀬戸内海斜面——揖保川・市川・加古川・武庫川・淀川・大和川等。

太平洋斜面——紀ノ川・有田川・日高川・熊野川・宮川・橿田川・出雲川等。
琵琶湖はわが國第一の大湖で、周圍六十里面積四十五方里、淀川の水源となる。湖上には汽船を通じ、風景に富んだ所が多い。淡水魚の産出も多い。京都へは疏水をもつて通づる。

(ハ)平野 平野は地味肥え、農産多く都邑も發達してゐる。
沿岸平野——伊勢平野・大阪平野・播磨平野等
盆地——近江盆地・京都盆地・奈良盆地・伊賀盆地等

(ニ)海岸 南北の海岸は鋸齒狀の彎曲があり天然の良港があるけれども、山脈が急に迫り、陸上の交通がよくないため發達がおそい。之に反し、東部及び西部の海岸は、背後に大平野もあり、海も深く良港が多い。この地方の海岸には特に風景の美に富んだ所が多く、全國を通じて最も有名なる勝景の地である。
氣候 北部は冬に西北風を受けて雪が多く、殆ど曇天ばかり續く。丁度北陸地方

とよく似た氣候である。南部の紀伊半島は、北に山を廻らし、南は海に開けてゐるから氣候が非常に高く、熱帯植物さへ繁つてゐる所がある。中央部は雨量が少く、氣候も温暖で、晴天が多く風光に富んだ所が非常に多い。須磨・明石・舞子・和歌の浦などはその著名のものである。

(イ)農業 土地もよく開け灌漑の便にも富んでゐるから農業は進み、農産は甚だ豊富である。

米は兵庫縣を最多とし三重・滋賀・大阪等に出る。殊に兵庫の米産はわが國第二位で、古來から播州米として知られてゐる、灘の地方に製酒の行はれるのもこれを原料とするのである。

麥は兵庫縣に多いが關東地方の諸縣程多くはない。

藥草は三重・大阪・兵庫の地方に多く栽培せられる。

茶は全國第二位にある三重を始めとし、京都・奈良に多く産する。殊に玉露は宇治の名産で品質の最も優れたものである。

蜜柑は和歌山に最も多く、全國の首位にあり、紀州蜜柑といへば古くから知られてゐる。

養蠶は近江・丹波・但馬の北部山地に行はれる。

牧畜は一般に牛が多く、兵庫の但馬地方に行はれ、中國地方の牛と共に、神戸牛の名がある。

(ロ)林業 紀伊地方は雨が多く、湿度も高い所から樹木は非常によく繁茂し、植林の經營が盛んに行はれてゐる。吉野・高野・熊野地方は杉・檜の良材多くこれらの材木は紀之川・熊野川を流して、和歌山市・新宮へ集まる。

(ハ)水産業 黒潮に洗はれる紀伊半島の地方は魚族多く、鯨・鯉・鰻の漁獲が多

い。随つて三重・和歌山・兵庫の水産は多い。熊野の鯨・伊勢の海老・志摩の鰯及び眞珠は有名である。又赤穂の製鹽、琵琶湖の淡水魚も名高い。

(二) 鑛業 生野は古くから知られてゐる銀山で、金及び銅の産もある。六甲山の御影石、玄武洞の玄武岩などは名がある。

(ホ) 工業 工業は殆ど全國にその比を見ない程の發達を示し、京都の美術工藝、阪神地方の實用工業は頗る盛んである。

綿糸紡績は大阪市・神戸市・尼ヶ崎市・四日市附近に多く、大阪の綿糸の産額は全國に冠絶してゐる。兵庫・三重はこれに次いでゐる。綿織物は大阪メリヤスその他を第一とし、和歌山の紀州ネル、三重の松坂縞、兵庫の明石木綿等は有名である。

絹織物では京都の西陣織、峯山・長濱の縮緬が有名である。殊に西陣織の精巧なことは全國にその比を見ない。

麻織物は滋賀縣に最も多い。

毛織物は大阪・神戸に多く、モスリン、羅紗、フランネル等を出す。陶磁器は京都の清水焼・粟田焼・樂焼・四日市の萬古焼・但馬の出石焼・淡路の淡路焼などが有名である。

漆器は和歌山の黒江塗、京都の高臺寺蒔繪などがある。

醸造業は兵庫縣の灘地方に行はれる製酒が最も多く、且つ品質も優良である。龍野は關西第一の醬油の産地である。

神戸及び大阪は燐寸の主産地で、海外に送り出す分も非常に多い。又この二地はわが國著名の造船地である。又舞鶴には海軍工廠がある。

(ハ) 商業 大阪は南日本に於ける貨物の大集散地で、東京と共に内國商業の二大中心である。各種の商業機關が備はり、頗る殷盛を極めてゐる。

外國貿易は神戸港、大阪港を主とし、何れもわが國の第二位・第三位を占め、これに次いで四日市がある。皆東洋及び歐洲の諸國と取引をしてゐる。宮津もまた

開港場である。

(ト)交通 京都は久しい間全國の中心であつたから、全國の主要街道は大抵こゝから發してゐる。即ち東海道、中仙道、北陸道、山陰道、中國街道などがそれである。

電車は近年著しく發達し全國に卓絶してゐる。又神戸港は東洋航路の一中心地で、船舶の出入りしげく、四日市、堺、舞鶴などもこれに次いで盛んである。又琵琶湖、淀川は小汽船を通じて陸上の交通を助けてゐる。又鐵道もまた東京と對して大阪が一大中心をなし主要の鐵道は皆こゝに集まる。

中國地方

中國地方は本州の西部を占め、東は近畿地方、北は日本海、南は瀬戸内海に面してゐる。西南は下關海峡によつて九州と相對してゐる。山陽道と、山陰道とを含み

行政上五縣に分けてゐる。

地勢 近畿地方の西に延びて半島の形をし、高原性の中國山脈が縦走して、日本海、瀬戸内海に分れてゐる。

山系 中國山脈は中央から幾分北によつて、東西に走つてゐる。此の山脈によつて山陽、山陰に分かれる。概して花崗岩から成り、高原性の山をなし、隨つて高山と思はれるものは殆どない。

白山火山脈は山陰道を走り、大山・蛭山・三瓶山・青野山等を起してゐる。大山は中國第一の高山で、松江などからの眺めは非常にいゝ。出雲富士など、云つてゐるのも成程とうなづかれる。三瓶山には、鳥地獄といふ有名な炭酸孔がある。

水系 半島狀の地形である關係上、河川は南流と北流とに分れる。花崗岩性の土質である關係上治水工事は中國諸縣の最も苦しむ所である。

瀬戸内海方面に注ぐものには吉井川(東大川)・旭川(西大川)・川邊川(高梁川)・芦

田川・太田川・岩國川などがある。

日本海方面に注ぐものには、千代川(加露川)・日野川・斐伊川(簸川)・郷の川などがある。郷の川は中國第一の長流ではあるが、舟運あまり開けず。湖沼には、日本海岸に宍道湖・中海の二湖がある。

平野 平野は一般に狭少であるけれども、大河の下流には多少の平野がある。岡

山平野・福山平野・廣島平野・杵築平野等である。

海岸 海岸は南北大いにその趣を異にしてゐる。

日本海岸は中央に島根半島が突出し、夜見ヶ濱の砂嘴と相對して、中海・宍道湖を擁してゐる。他には殆ど曲折はない。たゞ隱岐島が海上にぼつんとある位である。随つて良港はなく、冬季風浪強く航海は困難である。

これと反對に、瀬戸内海岸は、海灣・島嶼多く、且つ波も静かで良港が多い。内海の海灣・島嶼の中で有名なものには、下ノ關海峡・周防灘・大島・廣島灣・藝豫

海峡・備後灘・水島灘・兒島半島・兒島灣などである。

兒島半島と、島根半島とはもと島であつたものが、河川の土砂が流れ出て、大陸と接續してしまつたのである。殊に兒島灣は近年埋立工事を盛んに行ひ、年々水田を増しつゝある。

瀬戸内海は國防の上から重要な地區であつて、由良・藝豫・廣島・下ノ關などに要塞が置かれてゐる。

氣候 山陽と山陰とが全く異つた氣候であることは、地勢の上から見ても明瞭な

ことである。山陽(瀬戸内海方面)は中央山脈の影響により、四時快晴の日が多く、本州の中で少雨地とせられてゐる。随つて製鹽の發達は内地第一、又保養遊覽に出かける者も

多い。山陰方面は裏日本特有の氣候で、冬は西北の風強く、雨雪多く、天氣は陰鬱勝ち

である。

産業 氣候が温暖であるために農業も可成りの發達をしてゐる。

農業 大平野が少く、地味はあまりよく肥えてはゐないが、耕作は山坂までも及

び、殊に山陽は土地を巧に利用してゐる。到る處に二毛作が行はれてゐる。

米は岡山・廣島・山口の三縣に多く、備前米・防長米などは良米として名高い。

麥は岡山・廣島の二縣に多く一部農民の常食となつてゐる。高梁川の流域には麥

稈真田の産が多い。

蘭草も岡山・廣島の二縣に多く、疊表・花筵の製造原料となる。

大麻は廣島縣の三次地方を第一の産地とし、島根縣は之に次いで産出する。

煙草は岡山縣の北部、廣島縣の北部、廣島縣の東南部に産出する。

藥草は廣島・岡山の二縣の薄荷及び除虫菊等が有名である。

果實には岡山縣の水蜜桃、山口縣の夏蜜柑、廣島縣の蜜柑などが名高い。

養蠶は山陰の二縣に盛んに行はれ、殊に鳥取縣は盛んである。

牧畜業 規模は餘り大きくはないけれども、牧牛は山地一帯に盛んで、廣島縣の

牛は全國第一の頭数をもつてゐる。岡山・廣島・山口・鳥取の縣も盛んである。廣

島縣の三次には畜産試験場がある。牧馬の方は餘り盛んでない。

水産業 中國地方は三方海に圍まれてゐる關係上漁獲多く、瀬戸内海の鯛・鱈

牡蠣、長門近海の鯨・鰯・鱈・鱈・鱈・鱈の鳥賊などは古くから有名である。山口縣は中

國第一の水産地、廣島・島根の二縣は之に次いでゐる。これ等諸縣の漁民は朝鮮西

比利亞などの近海に出漁するものが少くない。

又瀬戸内海岸一帯は潮汐干満の差が適度で、鹽田を設けるのに都合がいゝ。それ

に晴天が多いから製鹽業が一般に盛んである。味野・松永・三田尻などは中心地であ

る。

鑛業 鑛業は一般にはあまり盛んでないが、帶江の金・銀・銅、吉岡の銅などが

多い。又山口縣の大嶺には無煙炭が有名である。又島根・廣島には花崗岩の分解によつて生ずる砂鐵の産額が少くない。又秋吉には大理石、島根には瑪瑙の産出が多い。

工業 山陽には盛んだけれども、山陰には餘り振はない。

綿絲紡績は岡山縣に盛んで、綿織物は、岡山縣、廣島縣等に盛んである。

壘 表、花筵は岡山以西、尾ノ道迄の間に盛んに行はれる。岡山縣の花筵は全國

の首位であつて、廣島縣の備後表は最も名聲がある。麥稈眞田の製造は岡山縣が全

國第一であり、廣島が之に次いで産出する。

陶磁器は岡山縣の伊部焼、島根縣の出雲焼、山口縣の萩焼など有名である。漆器

は僅かに島根縣の八雲塗を産するのみである。

製紙業は島根の石州半紙、山口の岩國半紙、鳥取の因州半紙等の産出がある。

醸造業は廣島縣に最も多く、靱の保命酒、竹原・三原の清酒は近年名聲をあげて

來た。

この他三石の耐火煉瓦、廣島縣の罐詰等もまた有名である。

商業 山陽は物産多く、交通が便利であるから、國內商業が盛んに行はれ、廣島

岡山・尾ノ道・下ノ關など中心商業地である。杉江市・米子は山陰の商市である。

外國貿易は糸崎・下ノ關・濱田・境の四開港場に行はれるが、下ノ關の外は餘り

外國貿易は盛んでない。

交通 京都に起つた山陽街道、山陰街道は、山陽・山陰の海岸を西走して共に下

ノ關に達してゐる。山陽街道は古來中國街道といつて、わが國の幹線道路である。

陰陽兩道の交通は極めて不便で、辛うじて馬車を通づる程度のものである。

鐵道は本州の縦貫鐵道である山陽線・山陰線を主とし、その他に多くの支線があ

り、山陽道は山陰に比してはるかに交通便利である。南北の交通は餘り開けてゐな

い。

瀬戸内海は瀬が静かで、内國の主要航路にあたり、東は大坂・神戸を、西は下の關・門司を主要港とし、宇品・尾ノ道・宇野等の良港があり航通甚だ盛んである。日本海には良港少く、海運業は一般に不振である。海底電線は下ノ關・釜山の間を連絡するものが最も主要なもので、兒島半島の下津井・長門の角島には無綫電信局の設がある。

四國地方

四國地方は瀬戸内海の南に位置し、瀬戸内海を境して、東は紀伊に、北は山陽に西は九州に對してゐる。南海道の四國と附近の島々を含んでゐる。

地勢 高峻な四國山脈が東西に走つてゐて東は紀伊山脈、西は九州山脈と相呼應してゐる全島には山地多く、交通は甚だ不便である。

(イ) 山系 四國山脈は吉野川の横谷によつて、石槌山脈と、劔山山脈とに分れてゐる

劔山は四國第一の高峰で、石槌山がこれに次いで高い。何れも夏は登山する者が多い。又丘陵性の讃岐山脈は讃岐、阿波の國境を東に走つて和泉山脈に相對する。又阿蘇火山脈の餘派はこの地に入つて二三の火山を噴起してゐる。

(ロ) 水系 河川は四國山脈・讃岐山脈に分水せられて、東南北に流れる。地勢の關係上河水も急流で、舟運の利は殆どない。

太平洋方面へ注ぐものには吉野川・那賀川・物部川・仁淀川・渡川などがある。吉野川は石槌山から發して、四國山脈を横切るあたりで、大崩壊・小崩壊の峽流を作り、下流に徳島平野を作つてゐる。古くから四國三郎の名があつて水利に富むこと四國第一である。

瀬戸内海斜面に注ぐものには肱川・重信川があるが何れも小さいものである。随つて四國には廣大な平野は少く、僅かに徳島平野・讃岐平野・松山平野・高知平野がある位のものである。

(ハ) 海岸 海岸には小出入甚だ多く、殊に瀬戸内海方面には無数の島々が散在してある。

瀬戸内海岸には讃岐・高繩の兩半島が突出し備後灘・燧灘と、播磨灘・伊豫灘とを分けてゐる。前面には小豆島をはじめ多くの島々が横はり、高松・多度津・今治高濱・三津ヶ濱などの良港がある。沿海には多くの鹽田があつて、製鹽業が盛んに行はれてゐる。藝豫海峡の中の來島海峡は要塞地帯となつてゐる。

太平洋岸には室戸崎・蹉跎岬が突出して平直な土佐灣を抱いてゐる。

紀伊水道岸は鋸齒狀の河岸をなし、北部淡路島との間には潮流の早いので有名な鳴門海峡がある。この附近も要塞地帯に入つてゐる。

豊後水道岸はリアス式の海岸で、宇和島・八幡濱などの良港を控へてゐる。佐田岬は海中へ約十里も突出して、四國と九州との山系の聯絡を明示してゐる。

氣候 北部は雨量が少く、晴天の日が多いために製鹽業が盛んである。之に反し

て南部は黒潮に洗はれる關係上氣温は高く、雨量は殊に多く、中には熱帶植物の繁茂してゐる所さへある。或は又一年に二回の米收さへある土地がある。

産業 古來交通の便が悪いために、産業は比較的進歩してゐなくて、漸く自然の産物を有する位のものである。

農業 土地は狭いけれども、氣候が温暖であるから、狭い土地にも改良を加へて可成り盛んに行はれてゐる。

米・麥は各地の小平野から産出する。

煙草・藍は徳島縣の特産で、共に吉野川の沿岸地方の平地に多く産出する。

甘蔗は香川縣に多く、その産額は沖繩・鹿兒島の二縣についてゐる。

楮・三楮は高知・愛媛に多く、土佐半紙の原料として供給せられる。

楡は愛媛縣の西部に栽培せられ木蠟の原料とせられるが、近年大いにその産額を減じて來た。

林業 土佐は高瀬でしかも雨量が多いので森林は繁茂し、杉・檜などの美林が多く、良材薪炭の産額は多いが、運送の便が悪いので、甚だ不利の地位におかれてゐる。又樟の自然林があつて樟腦を産出することも可成り多い。

水産業 太平洋岸の黒潮海流には鰹・鮪・鯨などの漁利に富み、土佐の近海沖の島附近には珊瑚を産出する所がある。高知縣の水産額は全國府縣中屈指の内にあつて、土佐節・赤珊瑚などは著名なものである。

瀬戸内海には、鯛・鰻・鱒の産出多く、香川・愛媛の二縣には殊に盛んである。この他製鹽業は一般に行はれ、香川・愛媛・徳島の三縣に多く、香川は内地第一位の産額をもつてゐる。

鑛業 愛媛縣に最も多く、殊に別子の銅はその産額、足尾・日立・小坂に次いで多い。又市ノ川のアンチモニーも内地第一の産額を有つてゐる。なほ讃岐の東部小豆島などからは花崗岩の石材を産出する。

工業 機械工業の方は一般に振はない。たゞ愛媛縣の綿絲工場が稍々著れてゐる位のものである。愛媛縣の伊豫絣・伊豫ネル・杉山縞、徳島縣の阿波縮・紺絣、香川縣の保多織などは有名である。高知・愛媛の和紙はその産額全國に冠たるものがある。この他香川の醤油・麥桿真田・燐寸・砂糖・文綺塗、愛媛縣の砥部焼などは有名である。

商業 主として大阪・神戸地方と取引し、徳島・高知は地方商業の中心である。全島には開港場一つもなく、輸出品は神戸を経て送り出される。

交通 山地が多いために道路は急傾斜と、曲折多く、陸上交通は甚だ不便で、他縣との聯絡は専ら汽船によるといふ状態である。

鐵道もその延長甚だ短かく、且つ一少部分の交通を助けるにすぎないものである。その主なものは讃岐線・徳島線・伊豫線位のものである。

海運は四方海に圍まれてゐる關係と、陸上交通の不便であるために比較的よく開

けてゐる。殊に東・西・北の三方は對岸との汽船聯絡の便よく開け、良港にも富み汽船の往來頻繁である。之に反して南は海陸共に不便で、恰も、山陰地方のやうな状態である。

瀬戸内海 中國地方及び四國地方を終つたからこゝに瀬戸内海の地理を少しく述べて見よう。瀬戸内といふ語は古くから船員の間で用ひられたもので、明石瀬戸以西をさしたものであつたが、明治初年に大阪灣をも加へて瀬戸内海と呼ぶやうになつた。紀淡(由良)・鳴門・豊豫・下ノ關の四海峽によつて大洋と連り、約百里の長さを有する内海である。内海中に散在する無数の島々は陥没を免れた殘骸で、多くは花崗岩から出來てゐる。

氣候は一般に溫暖で、雨量は少く且つ潮汐干満の差が適度であるから製鹽が盛んに行はれ内地製鹽の約八割はこの地で占めてゐる。その中でも十州鹽田といふのは主要産地である。この他内海では鯛・鰯・鰯・鰯などを多く産し、廣島灣では牡蠣の養

殖をやつてゐる。

内海は陸上と共に古くから交通の要路にあたり、波も静かで、風光 秀でた所も多い。加ふるに航海に必要な設備は完全に備へられてゐるので船舶の往來頻りで、四國、九州、中國、到る所に通航路が開けてゐる。殊に大阪・神戸・糸崎・下ノ關門司などは開港場として著名である。

瀬戸内海は我が國の文化東進の順路にあつて古くから開けた所で、沿岸の地方は一般に産業が發達し、人口も密であり、都會も多く、開化一般に進み同一系の文化をもつてゐる。又沿岸地方の人民は海に親しむ心強く、海事思想に富み、航海とか、遠洋漁業とかに従事するものが多い。又海外に在留するものも多い。

沿岸の勝地として有名なものは濱寺・住吉・須磨・舞子・明石・高砂・寒霞溪・五劍山・屋島・嚴島などである。以上述べたやうにこの地はわが國にとつて重要な土地であるから軍事上も亦要地として一軍港(吳)、四要塞(由良・藝・豫・廣島灣)・

下ノ關)が置かれてゐる。又昔は屢々戦争が行はれた關係上、歴史上にも有名な所が多い。

九州地方

九州は本州の西南、四國の西に位置し、瀬戸内海・太平洋・朝鮮海峡・東支那海などによつて取りまかれてゐる。古來帝國の西門として重要な位置を占めてゐた九州本島と琉球列島とからなつてゐる。即ち西海道十二ヶ國の地で、行政上これを八縣に分けて各々の政務を行つてゐる。

地勢 北部には筑紫山脈があり、南部には九州山脈があり、その間に阿蘇火山脈が走り、九州山脈の西には霧島火山脈が通じてゐる。随つて地勢が極めて複雑で火山作用は列島の中で最も猛烈である。

(イ)山系 筑紫山脈は又九州北部山脈ともいつて、中國山脈の連続で、北部を東西

に走る丘陵性の山脈である。一般に花崗岩から出来てゐて、石炭を埋めてゐることは夥しい。

九州山脈は四國山脈と連絡があり、日・肥の間を西南に走つてゐる。山勢一般に高峻で、祖母山・市房山などの高山があり、五ヶ莊・米良の莊などの様な深谷がある。この山脈あるがために九州地方は東西の交通を妨げられることは甚だしい。地層の中には有用金屬の埋められてゐるものが多い。

阿蘇火山脈は九州・筑紫兩山脈の間を東西に走つて四國の北部に及ぶ山脈で、多良・温泉・阿蘇・九重・由布・鶴見・兩子等の高山があり、温泉・阿蘇・由布・鶴見は活火山である。中にも阿蘇山は二重式の活火山で、外輪山の直径は東西約四里南北約六里の中に數多の火口丘があり中嶽の如きは現に噴煙してゐる。舊噴火口の大きいことは世界第一である。

霧島火山脈は日・隅の境にある霧島山に起り、櫻島・開聞嶽を起し、更に西南の

海に入り、硫黄島に之永良部島其の他數多の火山島を起してゐる。これ等の中間嶽以外は何れも活火山である。殊に櫻島は大正三年に大爆發したことで有名である。又霧島山は五里四方に互つてゐる火山群で、數十の火口と温泉とがある。これ等の火山地方には到る處に温泉が湧出し、浴客が非常に多い。中でも別府・島原・武雄・日奈久・阿蘇・霧島などは有名である。

(ロ)水系 河川は中央の山地から發して四方に流れる。朝鮮海峡の方面に流れるものは遠賀川で、餘り大河ではないが流れが緩かで、流域に良炭田が多く運炭に利用せられることが多い。又一方では河岸の平野に灌漑を與へるの便がある。

東支那海の方面に流れるものには筑後川・菊池川・白川・緑川・球磨川・川内川などがある。筑後川は九州第一の大河で、筑紫二郎の名があり、沿岸に肥沃なる筑紫平野をもつてゐる。日田以下には舟運があり、下流は小汽船を通づることさへ出

來る。球磨川は五家ノ莊の山中から發し、日本三急流の一つとして、河岸の風光を賞するものが多い。

太平洋方面に注ぐものには、大淀川・一ノ瀬川・大丸川・美々津川・五箇瀬川などがあるが何れも交通の便を助ける程の河川ではない。

瀬戸内海斜面に入るものには大野川・山國川がある。野馬溪の奇勝は山國川の中流にある。

(ハ)平野 河川のはとり及び沿海には平野が少くない。殊に北部・西部には沃野が開けてゐる。

筑紫平野は筑後川の下流に展げ、九州第一の大平野であり筑後米の産地として有名である。勿論米以外の農産も甚だ豊富である。

熊本平野は菊池川・白川・緑川の下流にあり、肥後米の産地として知られてゐる。この他遠賀川の流域、福岡・宮崎・大分の附近にも多少の平野がある。

ニ海岸 海岸の屈曲の多いことは五大島中の第一位で良港も頗る多い。

北部には、下ノ關海峡・響灘・玄海灘・博多灣・唐津灣・壹岐島・對馬海峡・朝鮮海峡などがある。玄海灘は浪の荒いので有名である。

西部には肥前半島・宇土半島・伊萬里灣・大村灣・天草灘・島原灣・平戸島・五島列島・天草島・八代海などがある。

南部には、薩摩半島・大隅半島・鹿兒島灣・櫻島・有明灣・薩南諸島・琉球列島などがある。

東部には日向灘・豊後水道・豊豫海峡・佐賀關半島・國東半島・別府灣・周防灘などがある。

要塞地としては下ノ關要塞・長崎要塞・對馬要塞などがある。

氣候 北部は冬になると西北の寒風を受けて、氣温はやゝ低くて、雨量は又あまり多くはないけれども、琉球列島から九州の南部に互つては高温多雨で、山地その他

に霜を見ることは少い。海岸には熱帯植物が茂り、殊に大島以南は純然たる熱帯植物を見、雨量は我が國最る雨地で、一月に三十五日雨が降るといふ諺がある程である。又夏の頃には時々颱風の襲來がある。

産業 地形が複雑なために各種の産業が行はれ随つて産額も非常に多い。

(イ)農業 北部には平野が多く、水田もよく開け、南部には台地が多く畑作が行はれてゐる。

米は筑紫平野・熊本平野・遠賀川流域の平野などに多量に産し、殊に肥後米・筑後米は良米として知られてゐる。福岡の米の産額は府縣中第三位の産額であり、熊本・佐賀の二縣はこれについて多い。

麥・菜種は福岡縣にその産額が多い。

粟・玉蜀黍・茶は熊本縣に最も多い。

甘藷は鹿兒島・沖繩を始めとしその他の諸縣にも栽培せられ、内地産額の約半分

を占めてゐる。

甘蔗は沖繩は内地第一位の産額を占め、次は鹿兒島に多く、粗製糖を多く出す。

煙草は鹿兒島縣は我が國の産地で、國分煙草は最も有名である。

蘭草は大分縣を本場とし、壘表・花筵などを多量に産出する。

楡は筑紫平野に多く、福岡縣の木蠟の産額は全國第一である。

(口) 牧畜業 廣大な平原、殊に阿蘇、霧島などの裾野は良好の牧場で、牛馬を飼養

することが多い。馬は鹿兒島に多く、鹿兒島は府縣中の第一位である。次に熊本は

第二位を占めてゐる。宮崎にもその産額は非常に多い。牛は鹿兒島・長崎・大分の

三縣に多く飼養せられる。養豚は沖繩に多く、沖繩は府縣中の第一位を占めてゐる

次は鹿兒島に多い。

(ハ) 林業 東南部には森林が多く、宮崎・大分の二縣には殊に發達し、良材を産出

する他、副産物として木炭・推茸・樟腦などを産する。

(ニ) 水産業 海岸線が長く、且つ暖流を通じてゐる關係上、長崎・鹿兒島の二縣に最も盛んに行はれてゐる。

長崎縣の近海には五島鯨・五島鰯・鰯・海鼠などの漁獲が多い。次に鹿兒島・宮

崎の二縣には鰹・鰯・鰯などの産出がある。殊に屋久島・吐噶喇島は薩摩節の本場

として知られてゐる。この他大分縣には鯛・鰻を出し、島原灣には牡蠣を、大村灣

には眞珠の養殖が行はれてゐる。又飯島の近海から出る珊瑚の産額は全國第一位を

占めてゐる。

(ホ) 鑛業 鑛産は何と言つても北部の石炭が第一である。これに次ぐものは南部の

金・錫・銅である。石炭は福岡・佐賀・長崎の三縣に亘つてゐる、筑豊・三池・肥

前・高島などの炭田に多量に産出する。福岡縣の産額は全國産額の約八割を占めて

ゐる。石炭の輸出港として有名なものは、門司・若松・三池・唐津などである。

金は鹿兒島縣に最も多く、串木野・山ケ野・芹ケ野・大口などの金山が著れてゐ

る。串木野は又銀をも産出する。錫は鹿兒島縣の谿山に最も多く、銅は宮崎縣の槇峰が主産地である。

(へ)工業 石炭の産出が多く加ふるに水陸の交通が便利であるから北部及び西部の地方には著しく發達してゐる。

まづ第一に推すべきものは福岡縣八幡の製鐵業である。八幡には東洋第一の官設の製鐵所がある。鐵鑛は主として支那の大冶から仰ぎ、軍器の獨立をはかつてゐる。

造船は佐世保海軍工廠・長崎の三菱造船所などで盛んに船艦を建造してゐる。製糖は福岡縣に盛んで、大里には精糖工場がある。

織物は福岡・鹿兒島・沖繩に多く、博多織・久留米緋・薩摩緋・大島紬・琉球緋芭蕉布などは古くから有名である。

陶磁器では佐賀縣の有田焼が最も多く、鹿兒島縣の薩摩焼は風雅に富んでゐるといふので有名である。又福岡縣の高取焼、長崎縣の三河内焼も地方の特産として名

がある。

醸造は福岡縣の清酒が第一で、沖繩縣の泡盛酒も知られてゐる。

この他工業として知られてゐるものには、大分縣の疊表、福岡縣の和紙・木蠟・沖繩縣の琉球塗・バナマ帽などである。

(ト)商業 福岡市は九州第一の都會で、内國商業の一大中心である。熊本市・鹿兒島市も又それ／＼地方の中心である。

外國貿易は、門司・若松・博多・三池・唐津・住ノ江・長崎・口ノ津・嚴原・鹿兒、佐須奈・三角・鹿兒島・那覇などで行はれる。

交通 門司は九州縦貫鐵道の起點で、鹿兒島本線はこゝから發し、小倉・八幡・久留米・大牟田・熊本等の諸市を経て鹿兒島に至る。豊州線・長崎線・宮崎線等は

之から分れて諸方に通ずる。殊に北部の炭田地方には筑豊線の諸線が樹枝狀に相通じて鐵道網は非常に密である。

航路としては門司・長崎を中心とし、臺灣・上海・北支那・大連・朝鮮・浦鹽などへの定期航路がある。又鹿兒島は沖繩に通ずる交通の要路にあつてゐる。海底電線は長崎附近を中心として附近への通信は自由である。無線電信局は、福江島の大瀬及び大東島に設けられてゐる。

臺灣 地方

臺灣は我が國の西南隅に位する大島で、西は臺灣海峡を挟んで、支那と對し、南はバシ海峡によつて、米領のフィリピン諸島に接してゐる。面積は約二千三百方里で九州島に比しては稍々小さい。

地勢 島の中央より稍々東部へよつた方を大山脈が南北に走り、地勢を自然東西に區切つてゐる。一般に東部は開化の程度が低く、西部は開化が進んでゐる。

(イ) 山系 臺灣山脈は本島の脊梁をなし、東側には海岸が逼り、臺東山脈が並走し

てゐる。又北端には大屯火山群がある。

臺灣山脈は本邦諸山脈中最も高く、三千米以上の高峰が並立し、山勢は頗る雄大である。三貂角、シルピヤ山、新高山、南岬などはこの臺灣山脈の秀峰である。山脈の西側は緩斜で、臺灣平野を作つてゐる。東部は僅かに臺東山脈々の中間に少しばかりの低地があるにすぎない。

新高山は三九六二米で、東西南北及び中央の五峰から成り、中央の主峰はわが國最高の山嶺である。西洋人はモリソン山といひ、支那では玉山といふ。新高山といふ名は明治天皇の御命名にかゝるものである。シルピヤ山は三八八八米で、一名雪山といひ、高さは新高山に次いでゐる。

大屯火山脈は本島の北端に大屯火山群を起し、大屯山・七星墩山などがその中の秀峰である。山麓には温泉の湧出が多く、北投温泉が最も名高い。この火山脈は西南に走つて、臺灣海峡中の澎湖島に至つてゐる。

ロ) 水系 地形上河川は一般に西側に多い。上流は山地を流れて概ね急流をなし、蕃界に居る關門を作る。下流は急に平野に出るため數派に分れて廣い河原を作つてゐる。大雨のときにはそれが氾濫して往來を絶つてしまふ。随つて舟運の便は極めて悪く、淡水河下淡水溪の他は下流でも舟を通ずることがない。

臺灣海峽斜面に流れるものには淡水河・大甲溪・大肚溪・曾文溪・下淡水溪等である。

太平洋斜面に入るものには卑南溪・秀枯巒溪・奇萊溪などがある。

湖沼は極めて少く、唯濁水溪に流入する日月潭だけが稍々著れ風光が秀れてゐる位のものである。

平野は西側に臺灣平野があつて、南北に延長して、可成りの沃野をたへてゐる。東側には北部の方に宜蘭の平野が僅かに開けてゐる位のものである。

ハ) 海岸 島の形が木の葉のやうで、海岸は一般に極めて單調で、基隆の他は全く

良港なく、海岸の出入も少い。東岸は山脈が急にせまつてゐる關係上、殆ど良錨地がない。西岸は平直な砂濱で、且つ遠淺になつてゐるため大船の寄泊には不便である。僅かに竹筏によつて連絡をとつてゐる位のものである。島としては臺灣海峽にある澎湖島と、東南の洋上にある紅頭島・火燒島位のものである。

氣候 北回歸線が島の中央を通つてゐるため、南半は熱帯に入つてゐる、だから氣温は一般に高く、山地であつても霜や雪を見ることは殆どない。雨は非常に多くて、北部地方などは我が國最多雨地として知られてゐる。

一年は大體乾・雨の二季から成り、十月から三月までは東北の季節風が吹いて北部は雨季に入り南部は乾季に入る。又四月から九月までは西南の季節風を受ける關係上、南部が雨季となり、北部が乾季となる。又夏季には颱風が屢々襲來しそのために災害を受けることが多い。かうした氣候であるため全島にはマラリヤ病が盛んに流行する。高温多温であるために植物の生育は甚だ盛んで、平地には榕樹・檳榔

樹・林投樹・竹鞭・杪櫛・藤・龍眼・芭蕉などが茂り、水邊にはマングローブが生長してゐる。高地には樺・檜などの暖帯性の植物が生じてゐる。特有の動物としては穿山甲で、西海岸には珊瑚礁の發育が盛んで、船舶の出入りを妨げる程である。

産業 まだ開化の程度が低い關係上割合に發達もおくれてゐるが、近年著しく進歩して種々の産物を出すやうになつた。

(イ) 農業は臺灣では最も主要な生業で、主として西部の平野に行はれてゐる。

米は中部の平野を主要産地として、臺中とか彰化とかがその中心となつてゐる。臺灣では年に二回の米收があるけれども、農業法がまだ幼稚であるから、二回の收獲を合計した所で内地の一回に達する位の程度である。これ等の米の大部分は基隆から内地に向つて移出せられる。

茶は北部の臺北州・新竹州地方の丘陵高原に栽培せられる。年に十數回の收獲が

あるといふ。その中で最も知られてゐるものは、烏龍茶で、米國及びジャハの地方に盛んで輸出せられる。

砂糖は中部・南部一帯から産出する。その中でも嘉義とか臺南とかは最も製糖業の盛んな地方である。粗製糖の産出は本島第一で、高雄とか安平とかから内地へ向つて送られ内この精糖の原料となる。

其の他甘藷・落花生・麻・藍などの産出が多い。

果實としてはバナナ、パイナップル・ボンカン・ブントタン・龍眼子などが多く出る。

家畜は第一に豚の飼養である。養豚の数はわが國の首位を占めてゐる。又水牛などもかなり多く主として耕作に使役せられてゐる。家毎には鶏・家鴨などを盛んに飼育してゐる。

(ロ) 林業 蕃界へ入ると、樟の大森林があり高地には檜の美林がある。樟から採取

せられるところの樟腦及び樟腦油は世界産額の大部分を占めてゐる。樟腦・米・花砂糖は本島の四大産物として最も重要なものである。

檜は阿里山・巒大山などに多く、殊に阿里山の檜は良材として廣く知られてゐる。現今盛んに伐採してゐる。嘉義にはこれが製材工場の廣大なものがある。

(ロ) 水産業 太陽の直射により日光の熱が強く、且つ風が多いために、西海岸地方には天日製鹽が頻りに行はれてゐる。その製品は盛んに、内地、樺太、浦鹽などに送り出してゐる。これは樟腦と共に政府の専賣品となつてゐる。漁獲の方は殆ど數へあげる程のものはない。

(ニ) 鑛業 鑛業は北部地方に盛んである。金は金瓜石・瑞芳から出る。銅及び石炭は基隆の南方から産出し、硫黄は大屯火山から産出する。又新竹州・臺中州には油田があつて、近時頻りに鑿井にとめてゐる。

(ホ) 工業 工業は一般にまだ不振であるが、製糖・製茶・製麻・製紙・樟腦及び樟

腦油の製造等、中々盛んである。又近頃非常に多くなつたのは臺灣バナマ帽の産額である。

(ハ) 商業 臺北・臺南は主要な商業地で、本島商業の中心をなし、開港場としては基隆・淡水・安平・高雄の四港があり、この他支那船のみに限つて商易を許されてゐる特別開港場が七つある。

臺灣の取引中最も盛んなものは内地との取引であつて、基隆及び高雄から、粗製糖・米・樟腦・樟腦油などを移出する。外國貿易は、支那米國を主とし、基隆・淡水から茶・樟腦を輸出し、阿片・煙草などを頻りに輸入する。阿片は従來の習慣によつて止められない臺灣人にのみ限つてこれを許してゐる。政府の専賣品である。

交通 東部は交通不便で、僅かに臺東線があつて開拓を助けてゐる位のものであるが、西部は縦貫鐵道の本支線及び、數多の私設鐵道があつて、交通はかなり開けてゐる。

航路としては、基隆・安平・高雄などを中心として、内地及び支那の諸港と定期航路を開いてゐる。又基隆・高雄は近年南洋航路の寄航地となつてゐる。主として日本郵船會社、大阪商船會社などの船が往來してゐる。

西岸は東岸に比べて航運は盛んであるけれども、海岸が遠淺であり、加ふるに風浪が高いために特殊の竹筏を使用して上陸する所が多い。が併し基隆及び高雄には築港が完成してゐる。

海底電信は淡水を中心に、長崎・支那・硫球などに通じてゐる。最北端の富貴角には無線電信局の設けがある。

住民 人口は四百萬に少し足りない程で、西部の平野地方に多い、このうち内地人は約十五萬、生蕃が約十三萬、この他は大抵臺灣人である。臺灣人は漢族であつて、もと對岸の支那から移住した民族で、言語とか、風俗とかは總て南支那人と異ならないが、阿片をのむこと、及び女子が纏足する悪習は次第に減じて近年は内地

人に大方同化して、産業上に偉大な勢力を占めてゐる。普通土人といつてゐるのがこれである。

蕃人は馬來種族に屬し、文化の程度によつて熟蕃、生蕃の二に分ける。

熟蕃は山麓の地に支那人と雜居して農耕・力役につとめてゐる。性質はおとなしくて良民である。

生蕃は東部の山地に居り、性質が獐猛で、常に鬭争を事としてゐる。首狩といふ蕃風を今なほ残してゐる。數多の蕃社に分れ、各社には酋長があつて部下を支配してゐる。中部以北の深山に住んでゐるアタイヤル族が最も狂暴である。總督府では隘勇線を張つて討伐し、或は慰撫誘掖して近頃では概して歸順して來たやうである。

政治 臺北に總督府を置いて、臺灣總督が立法・司法行政を統べてゐる。その下には五州・二廳があり、更にその下に市・郡が設けられてゐる。五州は臺北・新竹・臺中・臺南・高雄であり、二廳は臺東・花蓮港の二つである。

司法制度は臺北に高等法院があり、臺北・臺中・臺南に地方法院があつて、これ等は總て總督に直屬してゐる。

教育機關は未だ幼稚で、専門程度の學校としては、臺北高等商業・醫學専門・農林専門があり、臺南に商業専門學校がある位のものである。又各地方には師範・中學・高等女學校・實業學校などの設けがあり、普通教育も近時漸く普及せられて來た。

當地は帝國の最南端に位置してゐる關係上、防備の方面では、臺灣軍司令官によつて軍隊を統率してゐる。軍隊は臺北に第一守備隊、臺南に第二守備隊がある。又基隆及び澎湖島には要塞が設けられてゐる。

澎湖島中の馬公は要港部をなし、帝國の南境の防備にたつてゐる。

北 海 道

北海道は日本列島の東北部に位し、北海道本島と千島列島とから成つてゐる。面積は約六千方里で、約九州と四國と臺灣を合併した程の大きさである。もとえぞと云つてゐた地方で、それが明治二年に北海道と改稱せられ、ついで、渡島・後志・石狩・天鹽・北見・膽振・日高・十勝・馴路・根室・千島の十一國に分けたのである。行政上では、北海道廳の管轄に屬し、六市十四支廳に分れてゐる。道廳の長官を北海道長官といふ。

地勢 本島は地形上石狩平野を界として、菱形をしてゐるところの主體部と半島部とから出來てゐる。

(イ) 山系 北見山脈・日高山脈は相連つて、本島を南北に貫き、千島火山脈がこれと直交して東北にのび、半島には別に那須火山脈の北上してゐるのがあつて、恰も赤のやうな本島と、魚列に似た千島列島との骨格を形作つてゐる。

本島の主軸となつてゐる北見・日高の兩山脈は、これを合して蝦夷山脈といひ、

北は宗谷岬から、南は襟裳崎に連り地勢はやゝ高峻である。その西側には北部に天鹽山脈があり、南部に夕張山脈があつて、この二つは並走して丘陵性の山地を作つてゐる。

千島火山脈はカムチャツカ半島から起り、千島列島を経て、本島の中央で、蝦夷山脈と直交し、本島第一の高峰である旭嶽（ヌタクカムシユベ山ともいふ）を起し更にオプタテシケ・石狩嶽・十勝嶽などを噴起してゐる。東部にある雄阿寒嶽・雌阿寒嶽も亦千島火山脈に属するものである。

又半島部には那須火山脈が本州から北上して、恵山・駒ヶ嶽・有珠嶽・樽前山・マツカリ嶽などの火山をおこし、更に進んで利尻島・奥尻島等の火山島となつてゐる。マツカリ嶽は山容殊にうるはしく蝦夷富士の稱がある。有珠・樽前の二山は近年爆發したので知られてゐる。

(ロ)水系 河川は中央の高地から發源して、四方に流れてゐる。

オホーツク海方面へは常呂川、湧別川などがある。日本海方面へは石狩川・天鹽川などがある。太平洋方面へは釧路川・十勝川・沙流川などがある。これ等の河川は何れも流れが緩かたで、殊に釧路川の如きは水源地方まで舟を通づることが出来る位であるといふ。

石狩川は本道第一の長流で流程約九十里ほどなり源を石狩嶽に發し、上流では上川盆地をうるほし、神居古潭の峽流を作り、更に流れて石狩平野を作り、悠々と日本海に入る。水運の利大いに助けられる所がある。下流には汽船さへも通ずる。又湖沼も頗る多く、火山地方の洞爺湖・支笏湖・阿寒湖・屈斜路湖等は風景より又鱒の養殖に利用せられ、北見・根室の海岸には、潟湖多く、猿間・能取・網走・風蓮湖等が最も名高い。

(ハ)平野 石狩平野・上川盆地は石狩川の作る平野であつて、石狩平野は本島最大

の平野で、石狩川の支流がこれを貫流し、上流の上川盆地と共に地味豊澤で、開拓の程度も大いに進み、諸種の産業が盛んに行はれてゐる。

十勝平野は十勝川流域に出来た平野であつて、廣漠たる澤野が現今頻りに開拓せられてゐる。

馴路平野及び根室平野は共に廣大な平野であるけれども、土地が僻在してゐると夏季に濃霧が多くて農作物の生育を妨げるために開拓も餘程おくれれてゐる。

天鹽平野は天鹽川の流域にある細長い平野で、荒蕪の地がなほ多く、氣候もまた極めて寒冷で開拓の程度が一番おくれれてゐる。

(ニ) 海岸 半島部には平野はないけれども、海岸の屈曲に富み、二三の良港があり主體部は海岸が單調であるけれども、平野がよく發達してゐる。

半島部の海岸には、惠山岬・白山岬が本州の尻屋・龍飛の二岬と相對して津輕海峡を劃してゐる。海峡から灣入してゐる函館灣には函館の良港があり本州との唯一

の聯絡關門を作つてゐる。附近の地は一帶に要塞地帯に入つてゐる。内浦灣は大きな灣曲をしてその北方に灣入し、その東口にある繪鞆岬の内側には室蘭の良港がある。沿岸一帯は火山の噴出が多いので、噴火灣といふ別名さへある。北部には積丹半島が突出してその東側には小樽があり小樽の良港をひかえてゐる。

主體部の海岸には、宗谷岬・襟裳岬及び知床・花咲の二半島が角状をして突出し、花咲半島の北には根室灣が灣入し、又根室海峡によつて千島列島中の國後島と相對してゐる。單調な砂濱の中に僅かに厚岸・根室の良港がある。花咲半島の落石崎には無線電信局がある。

本島に屬する島嶼には火山島が多く、日本海には奥尻島・利尻島・禮文島があり千島列島には三十餘の火山島がある。國後・擇捉・得撫・新知・幌筵・占守・阿頼度等の諸島が最も著れてゐる。

氣候 土地が北によつてゐる關係上冬季が長くて寒氣もまたきびしい。十勝平

野の中部又は上川盆地、釧路平野などは最も寒気が酷しい。旭川では攝氏零下四十一度に下つたことさへあるといふ。が併し四月になれば雪が解け、温度もにはかに昇り、植物はしきりに生育する。

東岸は寒流親潮の影響によつて温度低く、西岸は暖流對島海流の影響によつて氣温は高い。雪や雨もまた西海岸に多く、冬季には北風が吹き荒れて屢々吹雪を起すことがある。

東南部の近海、根室・駒路・十勝は夏季になつて霧が多く、航海を困難ならしめ又農作物に對して害を及ぼすことも大きい。又東部の沿海・千島・北見・根室・釧路は冬から春へかけて流氷が襲來し、舟運を全く杜絶することがある。

産業 開拓の程度も低く、人も稀薄である關係上産業は一般におくれてゐるが近年長足の進歩を示し一年と隆盛に赴きつゝある。

(イ) 農業 平地が廣いのと、地味が肥沃であるために農業は盛んに行はれ、本島唯

一の生業の觀を呈し、我が國農産物の豊庫の感さへある。渡島半島・石狩平野・上川盆地・十勝・釧路の平野等が中心地で、これ等の地方は何れも機械力を利用して米國式の大農法を行ひ、規模が頗る大きい。

米は近年水田が多くなり、相當の収益のあることがわかり、ために石狩平野及び上川盆地には水田が發達し、品質は幾分劣るけれども、産額は年々増してゐる。

麥類としては裸麥・小麥・大麥・燕麥などで、大麥は麥酒の原料とし、燕麥は陸軍の馬糧として供給する。

豆類は農産物中の主位を占め、大豆・小豆・豌豆などが多く、おもに内地に向つて出す。

これ等の農作物中、工業原料として消費するものが可成り多い。例へば大麥の麥酒、玉蜀黍の酒精、馬鈴薯の澱粉、亞麻の製麻、菜種の製油などがそれである。果實としては林檎が最も多く、櫻桃も中々多い。

蔬菜としては甘藍、玉葱が多く、何れも果物と共に内地に送り出す。又近年は露領シベリヤに送り出す量も多い。

(ロ) 牧畜業 原野が広く牧草が豊かにある所から馬・牛の牧養が盛んである。日高の新冠御料場は木柵の延長が四十里に及び常に千頭以上の馬を飼養してゐる。又札幌附近の月寒には畜産試験場があり、牛・豚を放畜してゐる。この他釧路には二軍馬補充部の支部があり、その他公私の牧場が各所に散在し随つて良馬を出すことが多い。

(ハ) 林業 山野には蝦夷松・椴松・落葉松・白楊・柏・檜などが繁茂し、鐵道の枕木などに盛んに切り出す。内地ばかりでなく米國支那などへも頻りに送り出す。又建築用材としても送り出し、製紙用のパルプ或は燐寸の柚木としても使用せられる。又柏の皮からは革もみ用のタンニンを製出する。小樽・札幌などには規模の大きい製材工場がある。

(ニ) 水産業 沿海の地方には寒流・暖流の二潮流が流れて、世界屈指の大漁場をなしてゐる。漁期になると、奥羽及び北陸地方から渡來する者が少くない。

鯨は西岸及び北岸の地方に多く、福山・江差・岩内・壽都・留萌などがその中心地である。身欠鯨とか、數の子とかは食用とする。鯨粕は専ら肥料として内地に送り出す。この他に鮭・鱒・鱈・鰯・昆布等の産出も非常に多い。之等は鹽藏するか乾物として内地及び支那へ送り出す。本島の水産物は、製造物の産額は我が國第一である。猶ほ千島の近海には、ラッコ、アザラシ、オットセイなどの海獸が取れる。

(ホ) 鑛業 石炭は夕張山脈の西にある石狩炭田から多く出る。夕張を始めとして幌内・幾春別・歌志内・空知などの炭山では盛んに採掘せられ、その産額は福岡縣に次いで多い。硫黄は火山地方に多く、我が國の主要産地をなし、幌別、奥尻・岩雄登・古武井などは有名な産地である。金は枝幸の砂金及び渡島半島の岩金などが最も有名である。この他に石油マンガンなどの産出もかなり多い。

(へ)工業 石炭が豊富であつて而も價が安く、一方では工業原料である農産・林産等が豊富であるところから麥酒の醸造・酒精の製造・製粉・製麻・製紙・製材・製鋼・罐詰製造などの工業は年々盛んになり札幌・小樽・旭川・苫小牧・江別・室蘭等には諸種の大工場がある。

(ト)商業 函館・小樽の二市は内國商業の中心地であり、外國貿易は主として小樽・函館・室蘭・釧路・根室の五港で行はれてゐる。内地へは水産物・木材を送り出し外國へは木材・昆布・石炭・硫黄などを輸出する。

交通 新開地の常として主要道路は幅が廣く馬匹を使用して往來の助けとする。冬季には専ら橇を利用して交通の助けとしてゐる。

鐵道には函館から旭川までの函館線、室蘭から岩見澤までの室蘭線、旭川から稚内までの宗谷線、瀧川から根室までの釧路線、池田から網走までの網走線などが主なるもので、これ等の幹線から多くの支線が出てゐる。殊に夕張炭田地方には鐵道

の便が最もよい。

又海路では函館・小樽・室蘭・根室などの諸港を中心として内地・樺太・千島・浦鹽などとの間に航路が行はれてゐる。

花咲半島の落石崎には無線電信局が置かれ北米航路の船舶と通信してゐる。

住民 最近になつて内地人の移住者が年々増加し、毎年約七・八萬人の移住者があるが、今尙未開の土地が廣く、人口は極めて少く、全道で僅かに二百五十萬足らずである。新開地である關係に住民は元氣よく、風俗習慣などは東京人に近い。

原住民はアイヌ人で、主に膽振・日高・釧路などに部落を作つてゐる。殊に沙流川の中流にある平取にはアイヌ族の主邑がある。アイヌ族の数は年々に減少し今日では約一萬五千人位のものである。アイヌ族は體格が偉大で、男子は髭が多く、既婚の女は口の邊に顴をしてゐる。性質は極めておとなしいけれども、稍遲鈍で、専ら農耕・魚業を仕事としてゐる。近年は政府からの補助もあり、教育の程度も段

々向上して内地人と大差のない程度になつて來た。

樺 太

樺太は南は宗谷海峡を隔て、北海道に對し、東はオホーツク海、西は間宮海峡によつて西北利亞に對し、北は北緯五十度の線によつて露領に連つてゐる。面積は約二千二百里、臺灣に比して幾分小さい程度である。

樺太はもと奥蝦夷といはれ徳川時代からわが國人の移住するものもあつたが、明治八年に千島樺太の交換となり、全部ロシア領となつた。所が日露戦争の結果北緯五十度以南の地は我が國の領土となり、今日では樺太廳を豊原においてこの地を管轄してゐる。この地を更に五支廳に分けて近年になつて町村制を設けてゐる。

地勢 二條の山脈が島の形に従つて並走し地形を自ら限つてゐる。

(イ) 山系 西樺太山脈は露領から來て、西部を南走して能登呂半島となり、西能登

呂崎に終つてゐる。處々に休火山がそびえてゐる。東側には北に北東山脈があり、南に鈴谷山脈がある。北東山脈は北知床半島となり、北知床岬に終つてゐる。鈴谷山脈は中知床半島となり中知床岬につきてゐる。

(ロ) 水系海岸 この東西二列の山脈の間は、低地であつて、北部には本島第一の幌内川が南流し、南部には内淵・鈴谷・留多加の三川があつて細長い耕地を開いてゐる。幌内川は露領から流れて來て、舟運の便さへあるけれども、流域の平地は沼澤地であつて、夏でも數尺の下は氷つてゐる。俗に言ふツンドラ地帯である。従つて農耕には適しない。唯馴鹿が放牧せられてゐる位のものである。

海岸は亞庭灣・多來加灣等がありて、亞庭灣には大泊の良港がある。屬島としてはオットセイの繁殖所で有名な海豹島及び、アシカの群棲してゐる海馬島の二島がある。

氣候 北海に比較して氣温はずつと低いけれども雨雪は餘り多くはない。冬季

は北風が吹き荒れて寒気がはげしく、敷香は一年平均の氣温が攝氏零下約一度に下る。本邦第一の寒地として知られてゐる。西海岸は對島海流の未流を受けて氣温は幾分高く、眞岡の如きは不凍港である。が併し亞庭灣及び東海岸は毎年十二月から翌年の四月までは海水が氷結し六月までは流水を見る。又夏になると東海岸は濃霧におそはれて航行が甚だ不便である。

産業 氣候の關係で、農業はあまり行はれない。大體は天然を利用する産業である。

(イ) 農林業 農業としてはたゞ南部に麥類・馬鈴薯・豆の類が少量に産せられる位である。家畜としては釧鹿及び犬を飼養してゐる。

山野は北海道よりも一層寒帯林の姿を呈し、蝦夷松・杉松・落葉松・白楊などが密生し、建築用材、鐵道の枕木、製紙用のパルプ、燐寸の柚木などを産出するが、まだ伐採があまり盛んに行はれてゐない。林中に棲む動物から取る毛皮は極めて良

質のものである。

(ロ) 水産業 水産業は本島の主要生産業で、鱈は殊に西海岸に多く、又河海到る處に鱈や鱈や鮭、昆布などの水産に富んでゐる。海豹島はオットセイの繁殖所として禁獵地になつてゐる。

(ハ) 鑛業 石炭・石油の埋藏が少くない。内淵川の流域の石炭は既に採掘に着手せられてゐる。

(ニ) 工業 水産・林産業を原料とした工業が盛んに行はれ、水産製造・製材・製紙などが著れ近時豊原には乾留工場を設け、木材から酒精・醋酸を製出する。

(ホ) 商業 商業は亞庭灣岸の大泊を中心として内地との取引が盛んである。

交通 鐵道は南部の低地に輕便鐵道線があつて、大泊から榮濱に至つて居る。

主要の地間には道路が新設せられて車馬を通ずる。冬期は橇が唯一の交通具となる。大泊と眞岡と小樽との間には汽船の往來がある。冬は海岸が一般に凍結し眞岡

だけが活氣を呈してゐる。

住民 内地からの移住者は約十萬人、土人が約二十人位のもので人口は極めて稀薄である。が併し夏季の漁期には渡航者が激増して、殆ど冬期の倍位の人口となる。土人は南部のアイヌ人を主とし、北部幌内川の流域にギリヤーク・オロツコ等が居る。夏は河海に漁り、冬は林野に狩獵を事として生活を立てゝゐる。この他にほんの少數のロシア人が居る。

朝鮮

朝鮮は日本海と黄海との間に突出して居る半島で、南は朝鮮海峽をへだて、九州に對し、北は長白山脈、鴨綠江、豆滿江によつて支那の滿洲及び西比利亞に界して居る。面積は約一萬四千方里で、本州より少し小さい。

地勢

イ山系 北部には高峻なる長白山脈・妙香山脈等が西南から東北に連互し、その間に蓋馬高原をはさんで居る。長白山脈中には朝鮮最高峰の休火山・白頭山がある。頂上には火口湖龍王潭がある。南部の海岸近くには大白山脈がある。その分派は小白山脈となつて西南に走つて居る。大白山脈に屬する金剛山は、半島第一の名山で、花崗岩から出來て居て實に奇景に富んで居る。朝鮮人の最も誇りとする所は實にこの金剛山である。

水系 水分界が東に偏してゐる關係上、河川は大概西又は南に流れて居る。黄海斜面に流れるものには、鴨綠江・清川江・大同江・臨津江・漢江・錦江・榮山江などである。

朝鮮海峽斜面に流れるものは、蟾津江・洛東江などである。

日本海斜面に流れるのは、豆滿江である。

鴨綠江は全長百四十里で、我が國第一の長流で、豆滿江と同じやうに國の界を流

れて居るが比較的水が浅いので舟の便は少いが木材の搬出には名高い。大同江は短
いけれども水量が多い。漢江・錦江・洛東江は共に水運灌漑の利益が多く、下流に
は小蒸氣船さへ通じ、肥沃な平野さへある。

ハ海岸 東海岸は山脈が急斜をしてゐて、且つ出入も少く、僅かに永興・迎日の
二灣があるだけである。西岸及び南岸には港灣、島嶼が多く出入りにも富み、中に
も鎮海灣は自然の良港をなして居る。

日本海は海深く、潮汐干満の差が甚だ少く、元山では僅か一尺位であるが、黄海
は干満の差が多く、仁川では三十三尺に及び東洋第一である。

氣候・生物 南部は三方海に面して居る關係上、氣候は溫和で、雨量もまた適
度であり、中國地方の氣候と大差はないけれども、北部は大陸の影響を受けて寒暑
の差も甚だしく、冬になると海も河も共に凍つてしまひ、その上を馬車で通ること
ができる程になる。つまり南部は海洋性の氣候の特色をおび内地西南部の氣候と同

じであるが、北半は大陸性の氣候で滿洲の氣候に稍々似て居る。

雨量は東岸の外は一般に少く、六月から八月までの間は雨が多いけれども、その
他は晴天の日が多い。たゞ初夏の頃に西海岸地方には濃霧がおりにて航行を妨げるこ
とが多い。

かうした氣候であるから、北部の生物は稍々北海道に似、寒帶的であるが、南部
は稍々内地に同じやうな生物がある。

産業 氣候が複雑なだけに産業も種々であるが、まだ文化の程度が低い關係上
工業や商業は一般に不振である。

農業 農業はこの地の主要産業で、米・麥・大豆を始めとし、煙草・麻などの産
出が多い、又人參は朝鮮の特産物である。近年は各地に綿の栽培が行はれて居る。

米は麥や大豆と共に、朝鮮三大農産物と稱せられる程で、南部に多く、近時は内
地人が經營して水田が増えて來た。

綿は榮山江流域を主産地とし、現に米國種を移植してその改良を工夫しつゝある。これはこの土地にも適し將來有望な産業とせられて居る。

人參は開城附近が主要地で、人參を蒸して乾したものを紅蔘といひ、日光にさらしたものを白蔘といひ、何れも薬用として内地及び支那へ送り出す額が多い。

(ロ) 牧畜業 牛の飼養は盛んに行はれ、殊に北部は家毎に五六頭から四十頭程づゝ飼つてゐるといふ。従つて牛皮とか、生牛を輸出することは多い。この他馬とか豚とかも可なり飼養せられてゐる。

(ハ) 林業 山林は永年濫伐せられて來てゐる關係で一般に秃山が多いけれども、鴨綠江・豆滿江の流域には、落葉松・朝鮮松・蝦夷松・樅などの美林があつて頻りに伐採してゐる。新義州はその集散の中心地である。

(ニ) 鑛業 鑛産には金・鐵・石炭などが多い。金は黃海道の逐安、平安道の雲山・昌城、平安南道の順安などに多く産する。これ等の金は本邦金貨の地金として使

はれる。

鐵は黃海道の載寧・般栗・安岳などを主産地とし、これ等の鑛石は八幡製鐵所に送られる。なほ兼二浦には私設の製鐵所がある。

石炭は平壤の東南にある寺洞から無煙炭を産し、徳山の煉炭所の煉炭原料となる。この他に銅・黒鉛などの産出も少くない。

(ホ) 水産業 近海には漁利が頗る多く、農業に次いで主要産業となつてゐる。日本海の明太魚・鯨、朝鮮海峡の鯛・烏賊、黃海の石首魚などは最も有名である。この地方へは九州・四國・中國の漁民が多く出漁する。殊に明太魚は祝ひの料理に重んぜられる。

又西海岸地方は、天日による製鹽に適し、全羅南道が最も盛んで規模の廣大な鹽田がある。

(ヘ) 工業 近時内地人が漸く諸種の工業に従事するやうになつたが未だ余り盛んで

ない。

ト商業 今日なほ定期市の商風が残つてゐて大邱には春秋二回に大市が開かれ、取引が非常に盛んである。主要商業地としては、京城・大邱・開城・平壤・釜山・仁川などで、何れも内地の銀行會社などが大いに勢力を張つてゐる。

住民 人口は約一千七百萬で、北部には少いが南部にはかなり多い。大抵朝鮮族で、種族の上からは大和民族と大差はないが、久しい間の風習によつて性質が稍劣つてゐるやうである。

近時は内地人が年々多く移住して開拓につとめてゐる。その數約四十萬に達し、鐵道の沿線とか、海岸の地方には、内地人の市街・村落の起つてゐるものさへある。

政治 もとは韓帝國といつて獨立君主國で、古くから我が國と密接な關係をもつて建つてゐたが、日露戰爭によつて保護團となり、ついで明治四十三年の八月わが

國に併合することになつた。

京城には總督府をおき、朝鮮總督が立法・司法・行政を行つてゐる。總督には六局をおき、外に諮問機關として中樞院をおき朝鮮人を議員として政治を進めてゐる。

又京城には高等法院を京城・平壤・大邱には覆審法院をおき、更に八ヶ所の地方法院をおいて裁判事務、その他一切の司法を行使してゐる。

防備としては朝鮮軍司令部を任じて一切の軍事を統べさせてゐる。羅南には第九師團を、龍山には第二十師團をおき、又臨時に朝鮮派遣隊を各地に遣はす。海軍の方面ではこの地方を第五海軍區とし、鎮海に軍港をおき、永興に要港をおき、共に要塞地として防備に努めてゐる。

交通 古來道路は非常に悪く、馬を以て唯一の交通機關としてゐたが、近年道路の改修が進み交通の便が多いによくなつた。

鐵道には京釜線・京義線の二線によつて、半島を縦貫し、内地及び滿洲との接續を助け、極東、歐洲間の交通を助けゐる。この他清津と會寧との間には輕便鐵道が敷かれてゐる。

航路は釜山・仁川・元山を中心として、内地・北支那・浦鹽などに定期船の設けがあり、大阪商船・日本郵船などの船舶が通つてゐる。

關東州及び南洋諸島

關東州 關東州は滿洲の西南部に突出してゐる遼東半島の尖端の地で、東南は黃海に、西北は渤海灣に面してゐる。面積は伊豆半島の二倍位で約二百九十方里程ある。

全土は丘陵地で、河川の大きなものなどはないけれども海岸の出入には富み、金州灣・大連灣などが灣入して旅順港の良港がある。又東方の海上には長山列島がある。

り、海洋島がその東端にある。海洋島附近は日清戰役の大海戰のあつた所である。關東州はわが奥州地方と同緯度にあるが、大陸の影響によつて寒暑共に酷しい。冬は海岸は凍り、たゞ旅順が不凍港のみである。雨は初夏の暫を除けば大抵は晴天である。

地域が狭く、平地が少いから高粱の外に農産として見る程のものは少い。沿海には鯛・鱈などが獲れる。又天日製鹽も行はれかなりの産額に上る。工業は大連に豆粕・煉瓦などの製造所があり、商業は大連を中心として、石炭・大豆・豆粕などを多量に輸出する。

この地は滿洲の門戸にあつてゐる關係上、交通・貿易の上から頗る重要な位置を占めてゐる。南滿洲鐵道は此の地に起り歐洲への連絡をなし、大連からは内地及び支那への汽船の往來があり、交通を大いに助けてゐる。

人口は約七十萬で支那人が大部分を占め、本邦人は約十萬程である。この地は日

清戦争のとき一旦わが國の領地となつたが、後三國干渉によつて還附し、日露戦争の結果として租借權を受けついたのである。旅順に關東廳を置いて萬般の政治を行つてゐる。

南洋諸島 ミクロネシヤ諸島中の赤道以北にある舊獨逸領全部を含み、一千有餘の小島から成つてゐるけれども、面積は僅かに、百五十方里ほどで、沖繩縣位の廣さである。分けて、トリヤナ、マーシヤル、バラウ、カロリンの四群島とする。赤道に近接してゐるけれども、海洋の影響を受けて、氣候は温暖であり、毎日午後には驟雨があり、植物の生育は頗る盛んである。随つて、ヤシ、パンノキ、バナ、等が生育し、コブラは主要産物となつてゐる。又アングウル島には燐礦を出し、肥料を供給する。土人は約六萬人、性質はおとなしいけれども開化の程度は極めて低い。大正三年に日獨戦争の結果としてわが海軍が占領して、今日では國際聯盟管理の下に我が國の委任統治となつてゐる。(終り)

昭和十三年十月二十日 印刷
昭和十三年十月三十日 發行

(定價金壹圓也)

不 許 複 製

著 者 小 林 善 八

發行者 東京市中野區小瀧町四九番地
市 川 靖 己

印刷者 東京市中野區小瀧町四九番地
東京出版通信社印刷部

發 賣 所

東京市中野區小瀧町四九番地
東 京 出 版 通 信 社
電話中野六七〇四番・振替東京八四八三八番

終

